

長寿園デイサービスセンター改修工事



株式会社 五井建築研究所

図 面 目 録

表紙共 6 4 枚

建 築 意 匠 図35枚				電 気 設 備 図14枚		機 械 設 備 図14枚	
番 号	図 面 名	番 号	図 面 名	番 号	図 面 名	番 号	図 面 名
A000	図面目録	A035	1 階平面図【被災状況図】	E001	特記仕様書（1）	M001	特記仕様書（1）
A001	建築改修工事仕様書（1）	A036	1 階平面図（1）【撤去・復旧図】	E002	特記仕様書（2）	M002	特記仕様書（2）
A002	建築改修工事仕様書（2）	A037	1 階平面図（2）【撤去・復旧図】	E003	電気設備 配置図	M003	衛生設備 配置図
A003	建築改修工事仕様書（3）	A038	- 以下欠番 -	E004	ピット動力設備 平面図	M004	衛生設備 配置図、1 階平面図
A004	建築改修工事仕様書（4）	A039		E005	（キッチン）換気空調設備 平面図	M005	衛生設備 ピット平面図（改修）
A005	配置図、付近見取図	A040		E006	（キッチン）電気設備 平面図	M006	衛生設備 機器表、ピット平面図（改修）
A006	面積表	A041		E007	（キッチン）コンセント設備 平面図	M007	衛生設備 キッチン詳細図
A007	1 階平面図	A042		E008	（浴室）電気設備 平面図	M008	衛生 浴室詳細図（撤去）、ピット詳細図（撤去・改修）
A008	屋根伏図・地下1 階平面図	A043		E009	弱電設備 機器図	M009	空調換気設備 1 階平面図（撤去・改修）
A009	（浴室）既存平面詳細図【撤去図】	A044		E010	弱電設備 系統図（1）	M010	空調・換気設備 キッチン詳細図
A010	（浴室）既存展開図【撤去図】	A045		E011	弱電設備 系統図（2）	M011	換気設備 厨房フードリスト
A011	（浴室）平面詳細図【改修図】	A046		E012	弱電設備 平面図	M012	換気設備 自動制御 計装図 表類（改修）
A012	（浴室）展開図【改修図】	A047		E013	自動火災報知設備 平面図	M013	換気設備 自動制御 ピット平面図（改修）
A013	（キッチン）平面詳細図【撤去図】	A048		E014	（キッチン）自動火災報知設備 平面図	M014	衛生設備 自動制御 1 階平面図（改修）
A014	（キッチン）天井伏図【撤去図】	A049		E015	- 以下欠番 -	M015	- 以下欠番 -
A015	（キッチン）展開図【撤去図】	A050		E016		M016	
A016	（キッチン）平面詳細図【改修図】	A051		E017		M017	
A017	（キッチン）天井伏図【改修図】	A052		E018		M018	
A018	（キッチン）展開図【改修図】（1）	A053		E019		M019	
A019	（キッチン）展開図【改修図】（2）	A054		E020		M020	
A020	建具表（1）【撤去図・改修図】	A055		E021		M021	
A021	建具表（2）【撤去図・改修図】	A056		E022		M022	
A022	家具表【改修図】	A057		E023		M023	
A023	チェアインバス【参考図】	A058		E024		M024	
A024	厨房機器配置図・機器リスト	A059		E025		M025	
A025	1 階平面詳細図【改修図】	A060					
A026	展開図【改修図】（1）	A061					
A027	展開図【改修図】（2）	A062					
A028	展開図【改修図】（3）	A063					
A029	外構撤去図	A064					
A030	屋外付帯配置図	A065					
A031	屋外付帯詳細図	A066					
A032	- 欠番 -	A067					
A033	- 欠番 -	A068					
A034	- 欠番 -	A069					



最終改訂 令和5年4月1日

建築改修工事仕様書

工事概要

1 工事名

長寿園デイサービスセンター改修工事

2 工事場所

珠洲市宝立町春日野4字117番地

3 工事種目

建築工事

浴室内装改修工事、キッチン改修工事、内装改修工事（床・壁）

電気設備工事

電源、照明、防災設備改修工事

機械設備工事

給湯設備改修工事、ろ過器改修工事、給排水改修工事、空調・換気設備改修工事

別途工事

4 完成期日

令和 年 月 日（概成工期 令和 年 月 日）
（余裕期間制度試行工事適用の場合は、上記を完成日との期限とする。）

5 別契約

・ 屋外付帯工事

・ 植栽工事

・ 電気設備工事

・ 給排水衛生設備工事

・ 暖房設備工事

・ 冷房設備工事

・ 換気設備工事

・ 空調設備工事

・ 昇降機設備工事

・ 電話設備工事

・ 浄化槽設備工事

○ 浴室増築工事

○ 災害復旧工事

建築工事仕様

1 共通仕様

1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「改修標準」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）」（以下「解体共仕」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「標準」という。）による。

2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を用いる。なお、電気設備工事の工事仕様書は（ / ）図、機械設備工事の工事仕様書は（ / ）図による。

2 特記仕様

1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、印の付いたものを適用する。
○印と○印の付いた場合は、共に適用する。

3）特記事項に記載の（ . . . ）内表示番号は、「標準」の該当項目、当該図又は当該表を示す。

4）（別図 . . . ）は、「標準」の別図「各部配筋」の当該番号を示す。

5）特記事項に記載の[. . .]内表示番号は「改修標準」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

6）[G]印は、「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（グリーン購入法）の特定調達品目を示す。該当する項目については、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。

7）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、（ ）内は製品名を示す。

8）斜線で消去した章は適用しない。

1章 一般共通事項

項 目

特 記 事 項

① 適用基準等

設計図書の他に、下記の図書の該当事項を適用する。
○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版）
・ 建築構造設計基準の資料（国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和3年通知）のうち第3章
・ 営繕工事写真撮影要領（令和3年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
・ 営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部令和3年度版）
・ 公共建築木造工事標準仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版）
・ 屋根瓦工事共通仕様書（石川県土木部営繕課監修 平成29年版）
○鉄筋コンクリート構造配筋標準図（石川県土木部営繕課監修）
・ 壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（石川県土木部営繕課監修）
・ 鉄骨構造標準図（石川県土木部営繕課監修）
○石川県バリアフリー社会の推進に関する条例（施設設備の手引き）
・ 石川県公共事業景観形成ガイドライン

2 工事実績情報の登録

登録する（但し工事請負代金額500万円以上の工事。） [1.1.4]

③ 発生材の処理

1）産業廃棄物は「産業物の処理及び清掃に関する法律」に基づく許可業者により運搬し、同法に基づく許可を得た処分場で処分する。
また、処分に際しては産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に処理されていることを確認するとともに、マニフェスト一覧表を監督員に提出し、確認を受けなければならない。

2）発生材のうち引渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に引き渡す。 [1.3.12]
イ）引渡しを要するもの及び引渡し場所 ・ 引渡しを要するもの ・ 引渡し場所
ロ）特別管理産業廃棄物の有無 ・ 有 ○ 無
ハ）特別管理産業廃棄物の処理方法 図面 番 図参照

3）発生材のうち、現場で再利用を図るもの及び再資源化を図るものは下記による。
・ 現場で再利用を図るもの ・
・ 再資源化を図るもの ・

4）せっこうボードの処理（有害物質非含有のものに限る） [1.3.12]
・ 最終処分 ・ 再資源化

5）PCB含有シーリング材 分析調査 ・ する しない [1.3.12]

6）建設リサイクル法第11条に基づく「通知書」及び同法18条に基づく「再資源化等報告書」の提出の有無 ・ 有 ・ 無

④ 電気保安技術者

適用する [1.3.3]

⑤ 施工条件

----- [1.3.5]

6 施工調査

施工数量調査

調査範囲 ・

調査方法 ・

調査破壊部分の補修方法 ・

2章 建築材料等

1）本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するもの、又はこれらと同等のものとす。
「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「建築材料等品質性能評価事業建築材料評価名簿（最新年版）」（（社）公共建築協会）によるほか、これらと同等のものとす。ただし、同等のものとす場合は、次の 準じ監督員の承諾を受ける。また、同上評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとみなす。
JIS又はJASマーク表示のない材料及びその製造所等は、次のイ）からヘ）の事項を満たすものとする。また、製造所名、製品名等が記載された材料は、当該製品又は同等以上を使用する場合は、監督員の承諾を受ける者とする。
イ）品質及び性能に関する試験データの整備されていること。
ロ）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
ハ）安定的供給が可能であること。
ニ）法令等で定める許可、認定、又は免許等を取得していること。
ホ）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
ヘ）販売保守等の営業体制が整えられていること。
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督員に提出し承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。

2）請負契約約款第6条の2第7項に基づき調達する石川県産の工事材料については、「使用材料確認」により監督員の確認を受け、工事完了後は地元産品について「使用材料報告書」を提出すること。

3）請負契約約款第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用すべき工事材料は次のものとする。
杭 ・ 型枠類 ・ 防水材料 ・ 石材 ・ 木材 但し、杭以外のJIS規格品は除く。

4）請負契約約款第14条第1項に定める監督員等の立会いのうえ調合等をし使用すべき工事材料は次のものとする。
高強度コンクリート試練り

5）請負契約約款第14条第3項に定める見本は次のものとする。
○金属製品 ○合成樹脂製品 ○木製建具 ○塗装
○家具及び家具の金物 ・ 畳 ・ 内外装材料 ・ 屋根材料
なお、監督員が承諾した材料は、証明となる資料と使用箇所を付し、工事完成まで現場事務所に表示する。ただし、指示が困難な材料等はカタログ、その他に代えることができる。

6）本工事に使用する建築材料等は、アスベスト含有建材を使用しないこと。（「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び石綿障害予防規則等の一部を改正する省令の施行等について」（厚生労働省労働基準局長通達平成18年8月）参照）。安全データシート（SDS）等により確認を行った場合は、その写しを監督員に提出すること。

8 特別な材料の工法

「標準」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

⑨ 技能士等

技能士 [1.7.2]

適用工事種別

技能検定作業

仮設工事

○とび作業

鉄筋工事

○鉄筋組立作業

コンクリート工事

○型枠作業 ○コンクリート圧送工事作業

鉄骨工事

・ 構造物鉄工作業 ・ とび作業

ブロック・ALCパネル工事

○コンクリートブロック工事作業 ・ エーエルシーパネル工事作業

防水工事

○アスファルト防水工事作業 ・ 塩化ビニルシート防水工事作業
・ 改質アスファルトシート・チ防水防工事作業
・ セメント系防水工事作業 ・ FRP防水工事作業
・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ ウレタンゴム塗膜防水工事作業
・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ○シーリング防水工事作業

石工事

○石材加工作業 ○石張り作業 ・ 石積み作業

タイル工事

○タイル張り作業

木工事

○大工工事作業

屋根及びとい工事

・ 内外装板金作業 ・ かわらぶき作業

金属工事

○銅製地下工事作業 ○内外装板金作業

左官工事

○左官作業

建具工事

○ビル用サッシ施工作業 ・ 自動ドア施工作業 ○ガラス工事作業

カーテンウォール工事

・ 金属製カーテンウォール工事作業 ・ ビル用サッシ施工作業 ・ ガラス工事作業

塗装工事

○建築塗装作業

内装工事

○プラスチック系床仕上げ工事作業
・ カーペット系床仕上げ工事作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業
○ボード仕上げ工事作業 ○壁装作業

排水工事

○建築配管作業

植栽工事

○造園工事作業

・ 「石川の伝統的建造技術を伝える会」のうち、金沢公園整備工事従事者の認定を受けた者。

10 完成図等

作成する [1.9.1~3][表1.9.1]

工事完成図は、A3版製本（ 1部 ・ 2部 ○ 4部 ）を提出する。

屋外付帯工事実測図 提出しない ・ 提出する（ 1部 ）

保全に関する資料 提出しない ・ 提出する（ 1部 ）
保全に関する資料のうち「建物等の利用に関する説明書」は、「管理者のための建築物保全の手引き（改訂版）」（（一財）建築保全センター）に建物の構造、機器、保安業務等の説明及び清掃の要点、使用材料の製造品名、連絡先等を記載したものに代えることができる。
なお別契約の設備工事等がある場合は、連携の上作成する。

11 工事写真等の記録

1）工事記録写真等は、営繕工事写真撮影要領（令和3年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部）により整備し、下記により提出する。また、本仕様書の「第1章29号納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。
各区分の写真は、A4版スクラップブックに順序よく説明事項を記入の上、所定の部数を提出する。

区 分

分 類

大 き さ

撮 影 枚 数

部 数

着 工 前

カラー

100×148程度

20 景以上

1部

工 事 中

カラー

85×115程度

「営繕工事写真撮影要領」による

1部

完 成 時

カラー

100×148程度

30 景以上

1部

2）完成写真の撮影 ○専門業者の撮影（撮影者を明記） ・ 専門業者以外の撮影

3）原稿の使用権を次の者に移譲すること。 ○発注者 ○設計者
移譲を受けた者は、写真を撮影者の了解なしに撮影者名を表示しないで自由に使用できる。
撮影者が写真を使用する場合は、発注者・設計者の承諾を必要とする。

4）中間検査または、監督員の指示により手直しを命ぜられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添え提出する。

12 責任施工

特記事項中、責任施工の指示のあるものは、受注者及び下請負人の連帯責任とし、保証書を提出する。

13 工事報告書

工事の進捗度表、作業員の出勤報告、工事面図及び工事現場写真等を記載した工事報告書を毎月4日及び4月末毎に提出する。

⑩ 設備工事との取合い

1）設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承認を受ける。
2）設備工事の貫通孔、開口部の型枠、スリーブ等の補強筋は本工事に含むものとする。なお箇所等は、下記による。

位置 / 大きさ

100mm

125mm

150mm

175mm

200mm

補強筋箇所数

梁

壁

床

鉄骨部のスリーブ及び補強は本工事に含むものとする。
軽鉄下地で天井、壁等の補強は本工事に含むものとする。なお箇所数は、下記による。
イ）天井部分 箇所 ロ）壁部分 箇所

他 工 事 と の 取 合 い

建築工事

電気工事

機械工事

備 考

機器の基礎、換気扇取付用枠

梁、床、壁貫通部の補強

梁、床、壁貫通部のスリーブ、型枠

外気取付ガラリ、床下水槽マンホール蓋

ステンレス流し台等

換気フード、レンジフードファン

取付枠（鋼製）とも

天井、壁、床、点検口、プロパンボンベ庫

下流し、足洗場の給水、排水、玄関の排水

小便器仕切板（陶器製）、タオル掛（下地共）

洗面所、手洗所等の鏡

ボイラーの煙突

実験台に付属する設備機器

実験台の配管等の接続

埋込み分電盤、端子盤等の壁補強

埋込み分電盤、端子盤等の型枠

天井、壁ボード類の地下補強

簡易間仕切り（内装パネル）内の位置ボックス及び配管の取付

屋内・屋外に設置する発電機、配電盤、制御盤、受水槽、ポンプ等の基礎、防油堤

屋上に設置するテレビアンテナ・避雷針等の設備基礎

配線ビッド及び着

照明器具幹線等の吊りボルト用インサート

身体障害者用の手すり

洗濯機用防水パン及びトラップ

F F 暖房機・クーラー等の配管用スリーブ

電話・テレビ等の配線用スリーブ

クーラー取付ボルト用インサート

ユニットバス本体・付属品（シャワー金具・手すり・鏡・照明）

ユニットバス用換気扇

消火器

自動扉、電動 S、電動ルーバー、

1 次側配線

防火設備の閉鎖制御機器、感知器

2 次側配線

地下タンク室

⑪ 設計 G L

図示 ・ 設計 G L = 現状 G L

⑫ 建築基準法に基づき指定する条件

○地区の区分に応じた風速（ V（m/sec）） 30（県内全域）

○地表面粗度係数

○多雪地域指定 垂直積雪量 1.5m

⑬ 工事現場の指示板

工事現場には、下記指示板を設置する。（記入例）

90cm

工事名

発注者 石川県土木部営繕課

（監 修）

設計

監 理

施 工 建 築（業者名を記入する）

電 気（業者名を記入する）

給排水（業者名を記入する）

暖 房（業者名を記入する）

この工事は、週休2日に取り組んでいます

60cm（75cm）

（注意事項）

（監 修）内は、監修を委託した場合。
業者名が多くなった場合は、縦75cm以内とする。
工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は、角ゴシック体とする。

⑭ 施工の検査等

監督員等の検査を受ける工種は次のものとする。 [1.7.5]
根切り掘削完了時 主要構造部の配筋 ・ 型枠の組立て
その他監督員が指示するもの

⑮ 施工の立会い等

請負契約約款第14条第2項に定める監督員等の立会いのうえ施工するものは次のものとする。 [1.7.7]
杭打ち ・ コンクリートスラブ確認及び打込み ・ 屋外タイル圧着試験
その他監督員等の指示するもの

20 中間検査

中間検査の実施 有 ・ 無

実施時期 躯体工事完了時 ・

21 公共事業労務調査等に対する協力

・ 受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。また、工期経過後においても同様とする。
1）調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。
2）調査票等を提出した事業所が発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。
3）正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い、就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。
4）対象工事の一部について下請け契約を締結する場合には、当該下請け工事の受注者（当該下請け工事の一部に係る二次以降の下請け人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。
・ 本工事が「建設副産物実態調査」の対象である場合、工事完了後速やかに調査票を作成し、監督員に提出しなければならない。

22 保 険

工事目的物、工事材料等に生ずる損害を填補する保険は、下記による。
建設工事保険又は組立保険（工事対象物を全て解体する工事を除く）
加入期間 引渡しまで（引き渡しを要しない工事の場合は、工事完了まで）

⑯ 室内空気汚染対策

室内空気汚染対策の実施 実施する ・ 実施しない [1.7.9]

1）測定の有無等
測定する場合は、下記の通り揮発性有機化合物について室内濃度を測定し、厚生労働省の定める指針値以下であることを確認し、報告すること。
イ）測定の有無 有 ・ 無
ロ）測定対象室
測定は原則として、内装仕上げ材料の仕様が大きく異なる居室毎に行う。ただし、居室の規模が著しく異なる場合は、それぞれ実施する。
内装改修等を行った居室について測定を行う。
ハ）1室当たりの測定箇所数

室の床面積 A（㎡）

A 50

50< A 200

200< A 500

500< A

測定箇所数

1

2

3

4

全ての測定箇所において、二）の測定対象化学物質全ての濃度を同時に測定する。
二）測定対象化学物質及び測定方法
測定対象化学物質は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレンとし、同時に測定する。測定方法は、パッシブ型採取機器を用い、国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課長通知（平成24年4月5日国営整第4号）「官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」により行う。
ホ）測定時期
測定は下記の時期に行うものとする。
測定対象化学物質が、関連工事による測定対象室への流入や急激な拡散がほぼなくなり、引き渡し後の室内空気環境と同程度になった時期。
別途工事又は家具の設置等が行われる前。
内装又は塗装等の施工が終了し、その後十時間換気が行われていること。
中央式空調設備のように入換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していること。
ヘ）測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合の措置
測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発生源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定を行う。
ト）その他、採取、測定及び分析の方法は、上記二）の国土交通省通知によるほか、監督員の指示による。

2）施工中・施工後の通風、換気
接着剤、塗料等の塗布に当たっては、使用方法や塗布量を十分管理し、適切な乾燥時間をとるようにする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分にいい、室内に放散した溶剤成分等の希釈を図るものとする。

3）引き渡し時
室内空気中に化学物質を発生するおそれのある建築材料等の使用状況の一覧表を提出する。

4）揮発性有機化合物を放散させる建築材料等本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のイ）からホ）の事項を満たすものとする。
イ）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを放散させないが、放散が極めて少ないものとする。
ロ）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないが、放散が極めて少ないものとする。
ハ）接着剤は、フタル酸ジ・n-ブチル及びフタル酸ジ・2-エチルヘキシンを含有しない難揮発性の可塑性を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないが、放散が極めて少ないものとする。
ニ）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないが、放散が極めて少ないものとする。
ホ）上記のイ）、ハ）、二）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないが、放散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。
「規制対象外」のもの
JIS又はJASの F 規格品
建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
下記表示のあるJAS規格品
ア）非ホルムアルデヒド系接着剤使用
イ）接着剤等不使用
ウ）非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料を使用
エ）ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
オ）非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
カ）非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
・ 「第三種」のもの
JIS又はJASの F 規格品
建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
JISの E の規格品

⑰ 名札の着帯

現場代理人及び主任（監理）技術者は、工事期間中は次に定める様式例等による顔写真入り名札を着帯すること。（但し、請負額1,000万円以上の工事）

55mm

17mm

10mm

18mm

40mm

6mm

24mm

13mm

42mm

24mm

30mm

24mm

91mm

建設（株）社員証

（顔写真）カラー写真貼付

氏 名 太 郎

発行日 令和〇年〇月〇日

代表者 建 一 代表印

（注意事項）
名札として使用する用紙（台紙）は白色、寸法は上図（名刺サイズ、縦5.5cm×横9.1cm）の
とおりとする。
顔写真（カラー写真）の寸法は縦4.0cm×横3.0cmとし、撮影する部分は胸から上の上半身とする。
ケースの寸法は上記 の用紙（台紙）が入る大きさとする。

25 施工体制台帳の作成等

当該台帳を現場に備え付け、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げること。

GO

Creation & Technology

株式会社 五井建築研究所

一級建築士事務所石川県知事登録 1 0 2 6 号
一級建築士 第 2 6 9 9 2 3 号
設備設計一級建築士第 2 3 2 6 号 喜多孝之

担当

年月日

訂正

記事

E.Yamakoshi

2026.4

工事番号

工事名

24・23F

長寿園デイサービスセンター改修工事

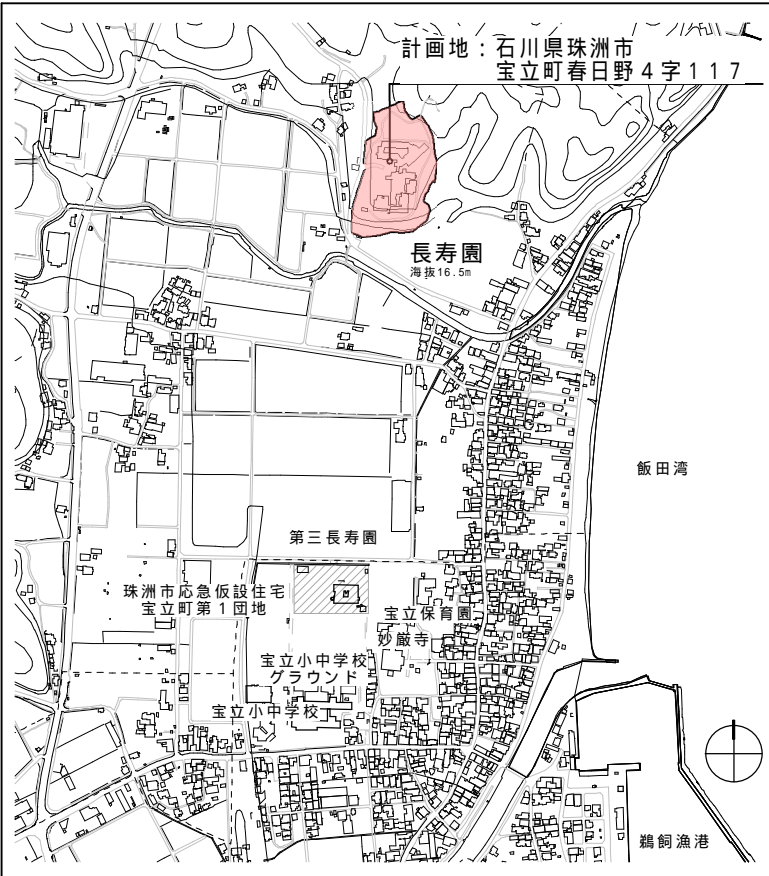
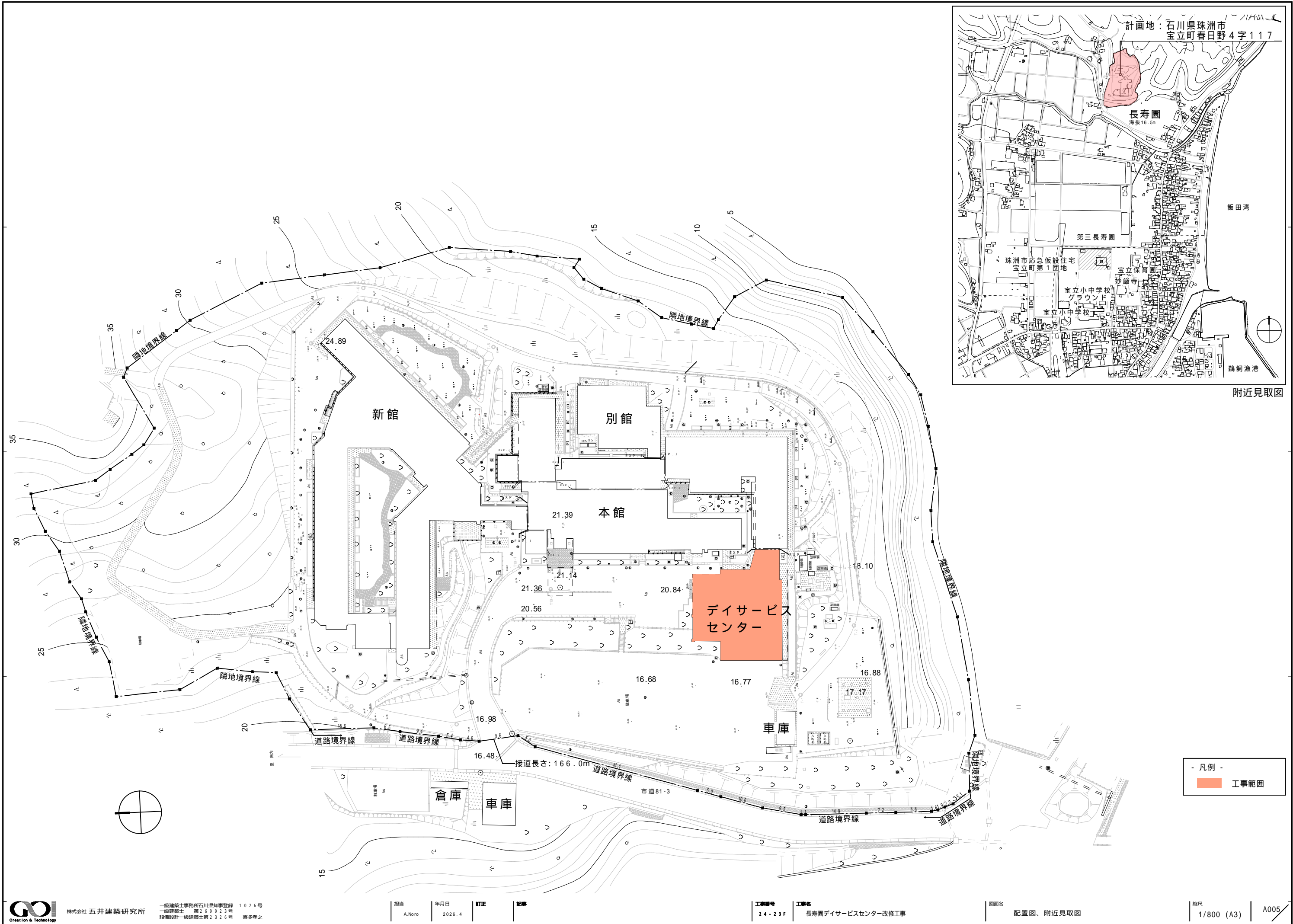
図面名

縮尺

A001

建築改修工事仕様書（ 1 ）

nonscale



附近見取図

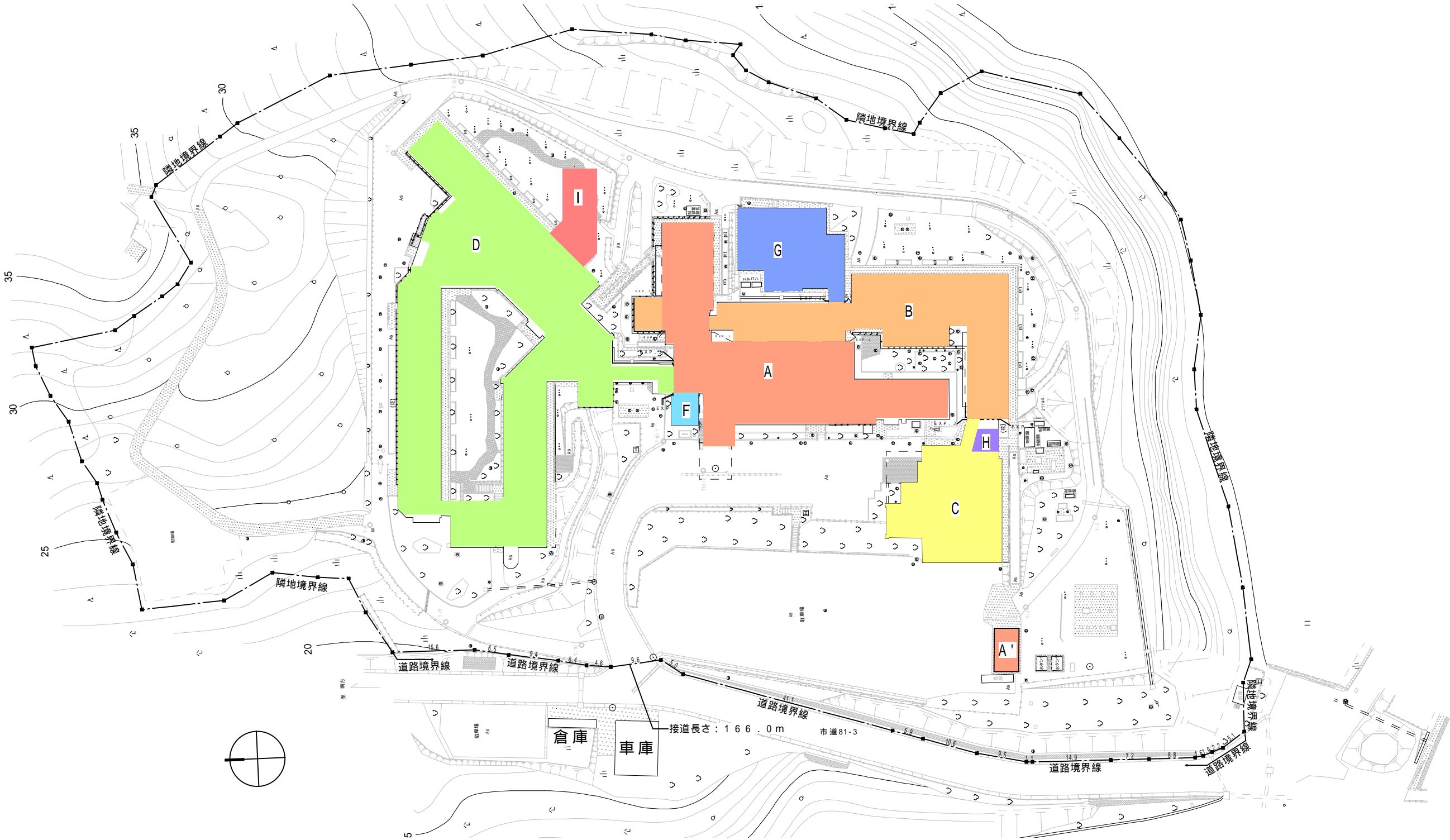
- 凡例 -
- 工事範囲

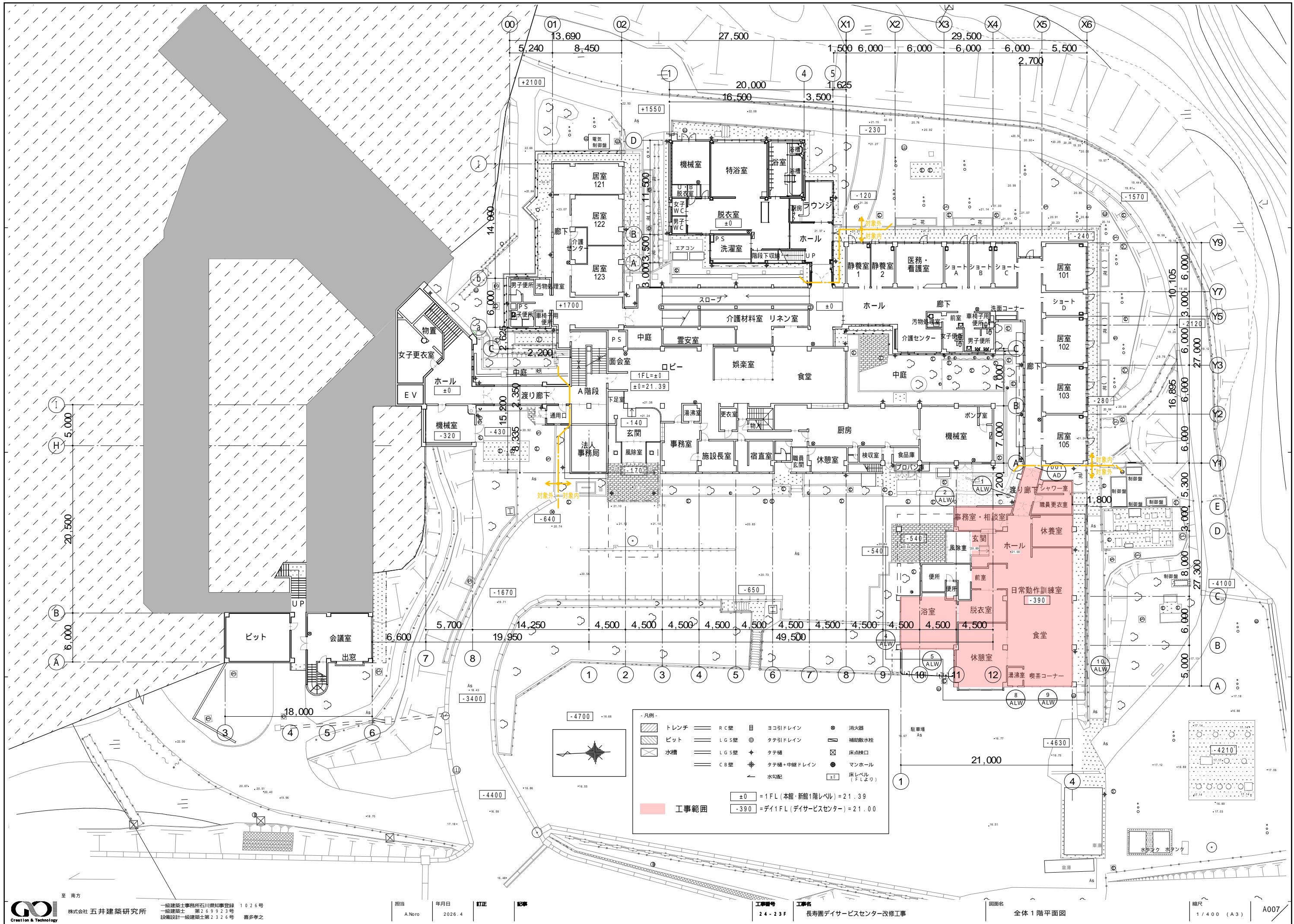
既存面積表

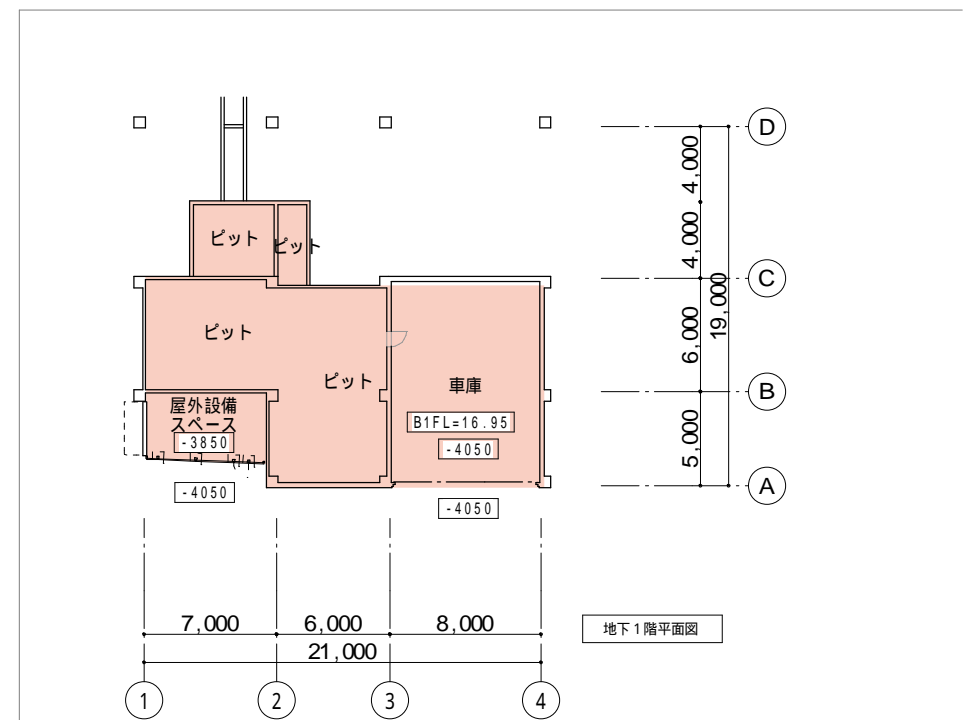
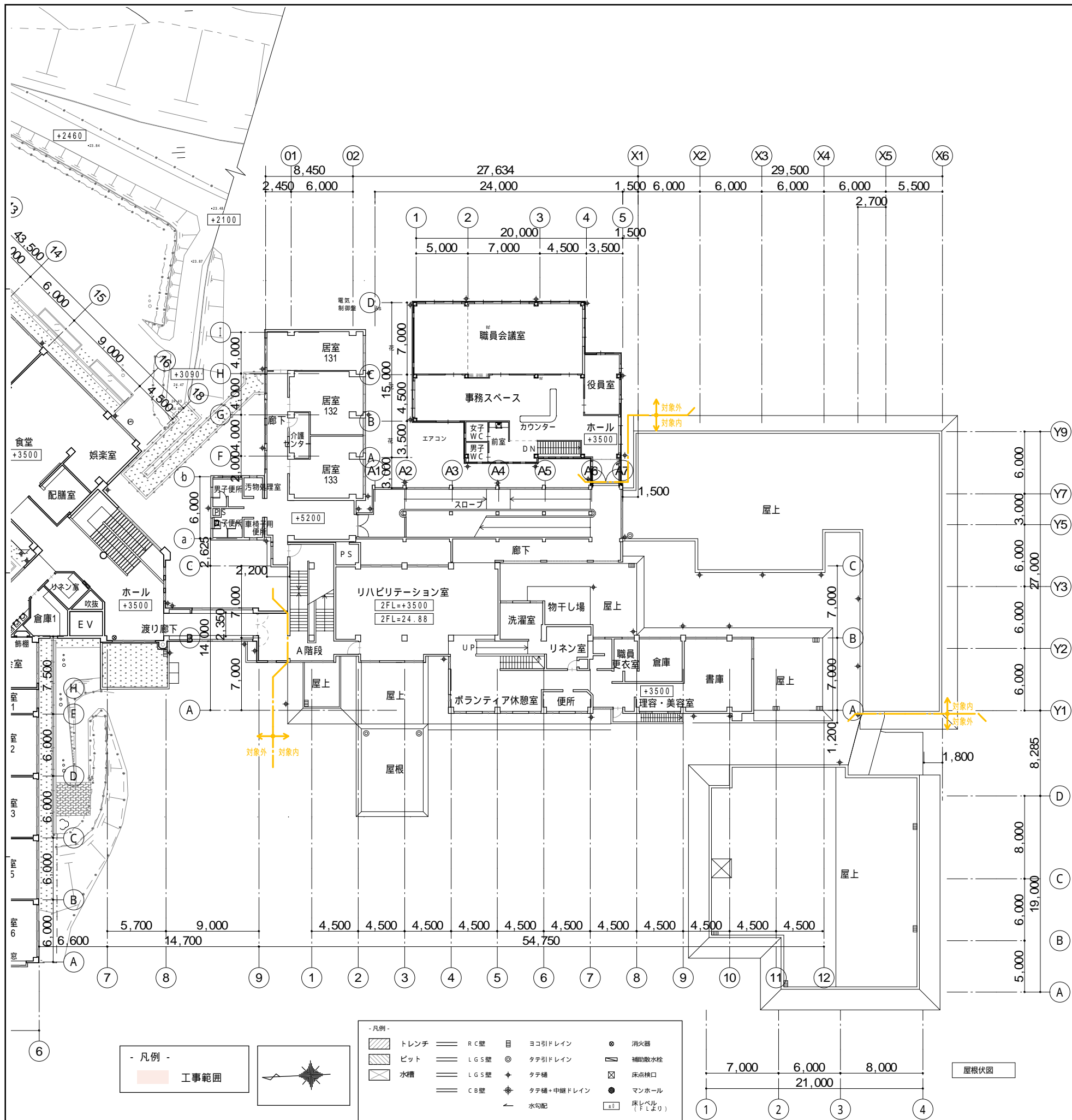
	A：本館棟 (昭和49年)	A'：車庫 (昭和51年)	B：本館棟増築 (昭和59年)	C：デイサービス センター (昭和62年)	D：新館棟 (平成2年)	F：法人事務局 (平成14年)	G：別館棟 (平成15年)	H：デイサービス センター増築 (平成16年)	I：浴室増築		既存・浴室 合計
屋上面積					15.98㎡					屋上面積	15.98㎡
2階床面積	606.20㎡		193.25㎡		1,567.89㎡		276.75㎡		124.97㎡	2階床面積	2,769.06㎡
1階床面積	762.48㎡	36.4㎡	671.46㎡	386.41㎡	246.04㎡	29.65㎡	273.25㎡	26.10㎡		1階床面積	2,431.84㎡
地階面積	54.02㎡			88.00㎡						地階面積	142.02㎡
延床面積	1,422.70㎡	36.4㎡	864.71㎡	474.41㎡	1,829.91㎡	29.65㎡	550.00㎡	26.10㎡	124.97㎡	延床面積	5,358.90㎡
建築面積	813.93㎡	36.4㎡	712.21㎡	455.62㎡	1,666.02㎡	29.65㎡	311.00㎡	26.10㎡	124.97㎡	建築面積	4,139.50㎡

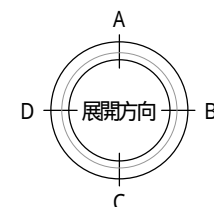
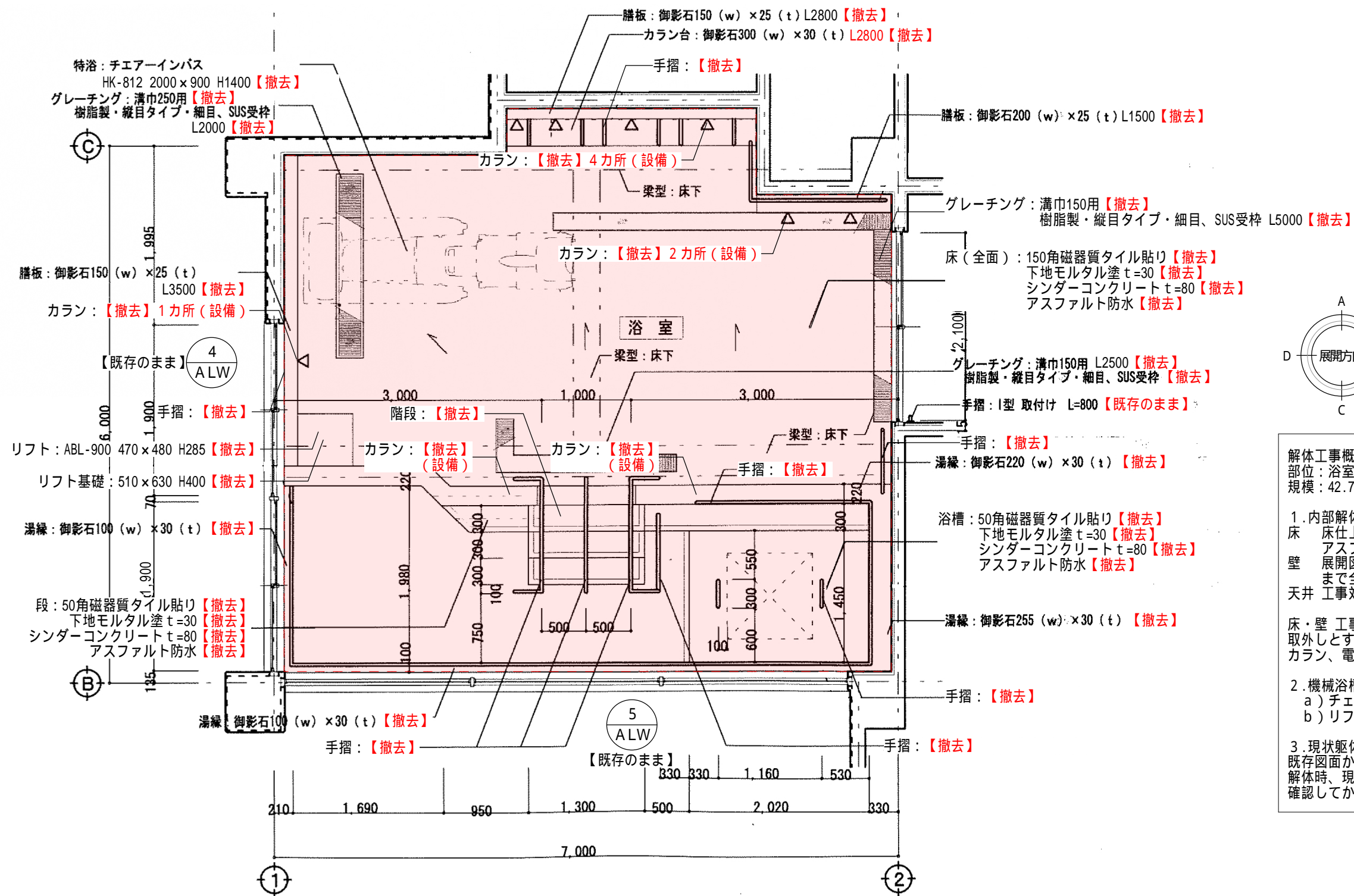
改修工事部分面積表

	C：デイサービス センター (昭和62年)	H：デイサービス センター増築 (平成16年)	改修工事部分 合計
屋上面積			
2階床面積			
1階床面積	386.41㎡	26.10㎡	412.51㎡
地階面積	88.00㎡		88.00㎡
延床面積	474.41㎡	26.10㎡	500.51㎡
建築面積	455.62㎡	26.10㎡	481.72㎡









解体工事概要
部位：浴室
規模：42.72㎡

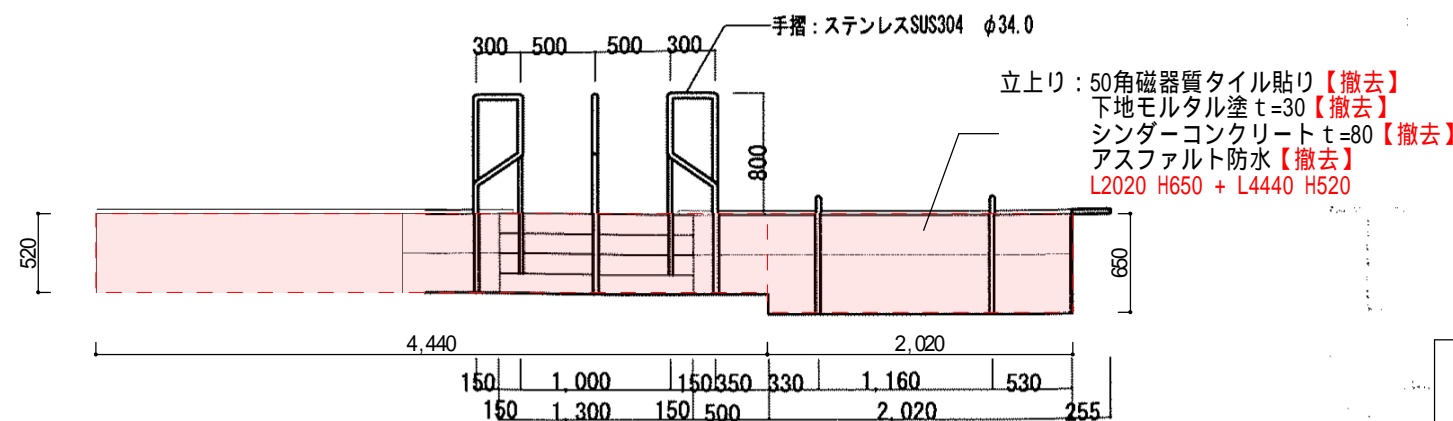
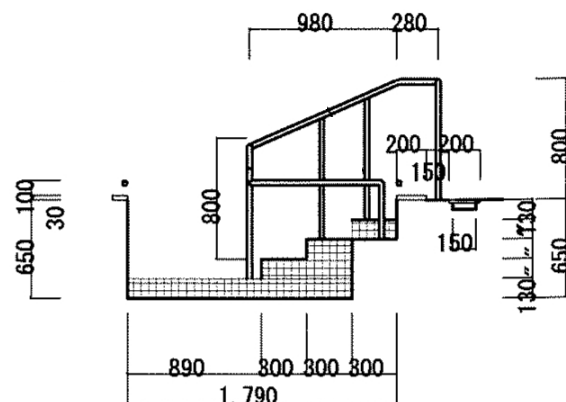
- 内部解体
床 床仕上（浴槽内を含む）、下地、シンダーコンクリート、アスファルト防水 までを全て撤去とする。
壁 展開図に示す範囲内の壁仕上、下地、アスファルト防水 まで全て撤去とする。範囲外は既存そのままとする。
天井 工事対象外とし、既存そのままとする。

床・壁 工事範囲内に取付く排水溝や手摺などは全て撤去もしくは取外しとする。
カラン、電源、給排水については設備工事にて撤去・取外しとする。

- 機械浴槽 撤去
a) チェアインバス 1台 オージ技研 Tutti (HK-812)
b) リフト浴 1台 アマノ ウェルオンリフト (ABL-900)

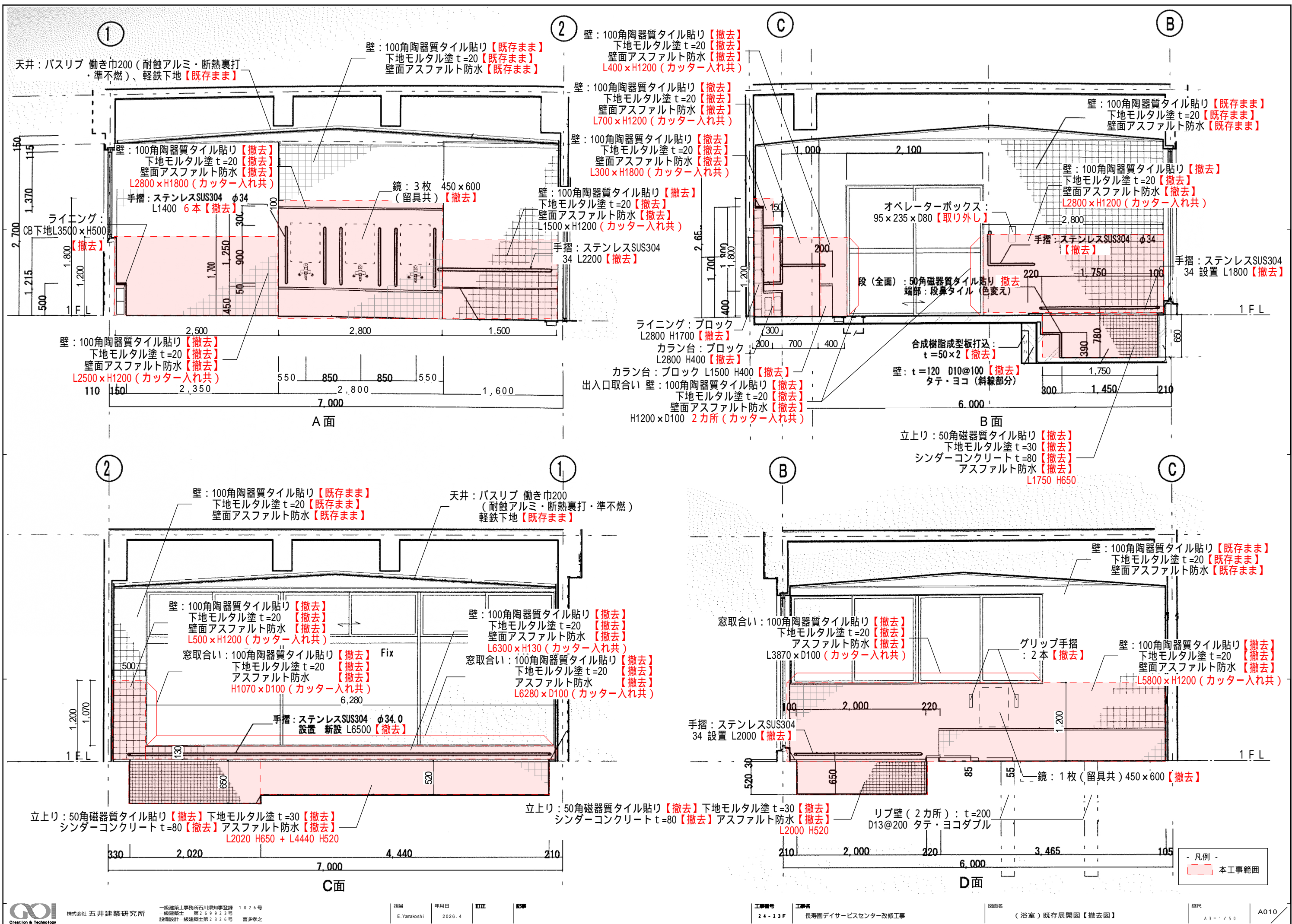
- 現状躯体の確認
既存図面から正確な寸法が読み取れない為、解体時、現状躯体の寸法、位置を測定して図面との相違がないことを確認してから次の工程に進むこと。

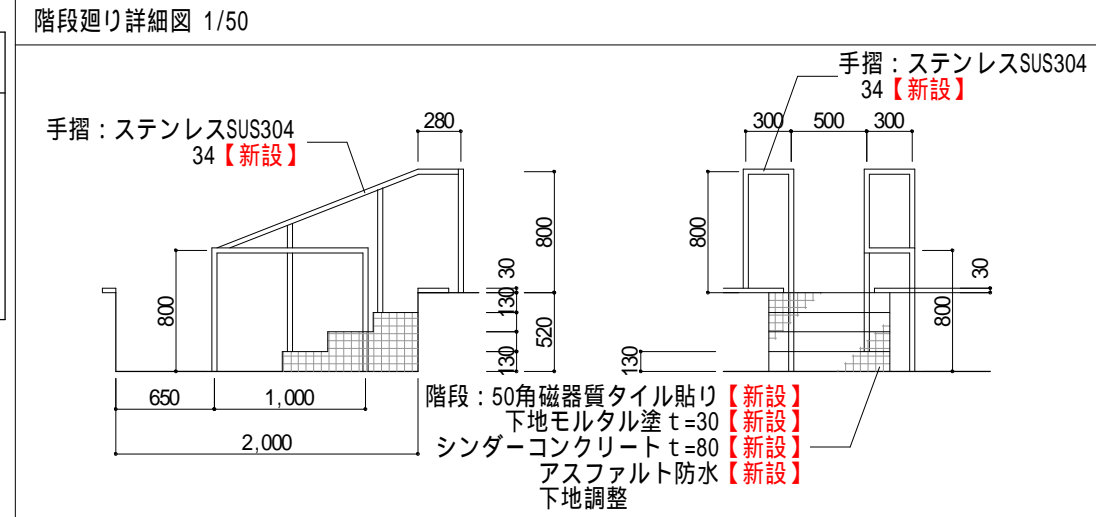
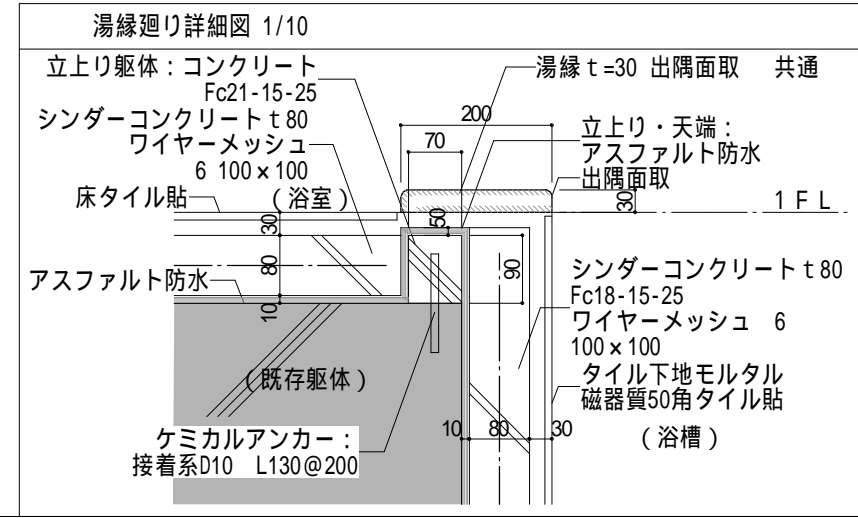
階段詳細図
【全て撤去】



- 凡例 -

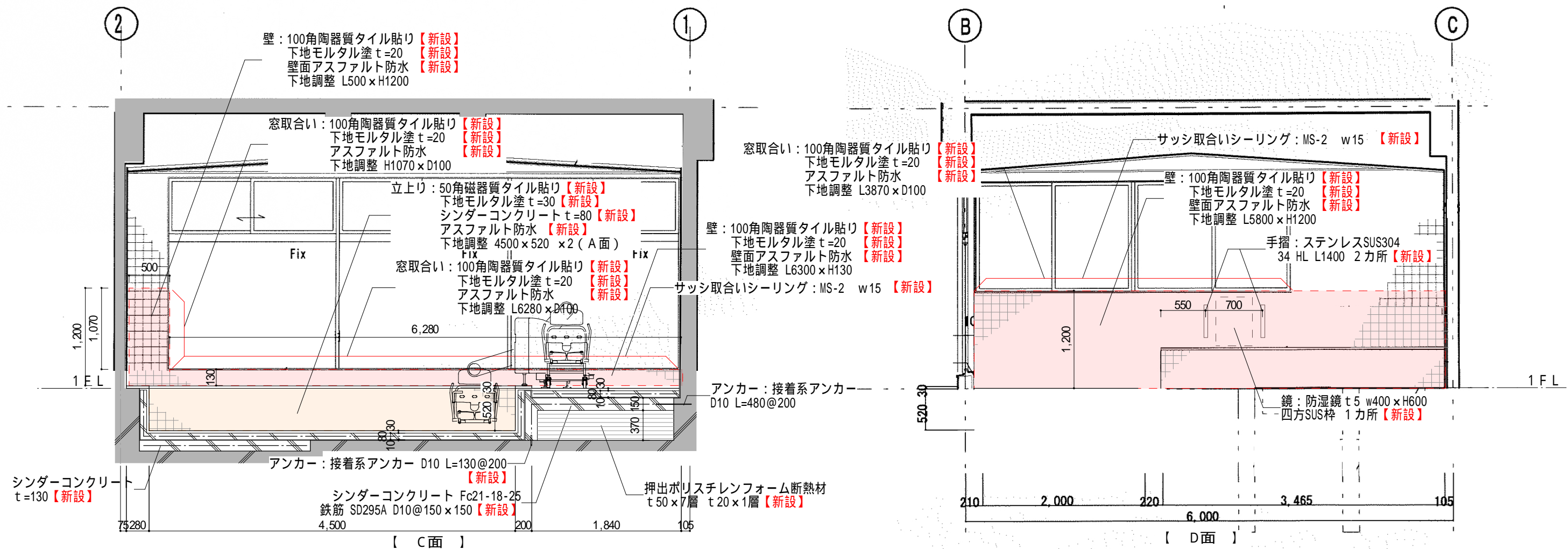
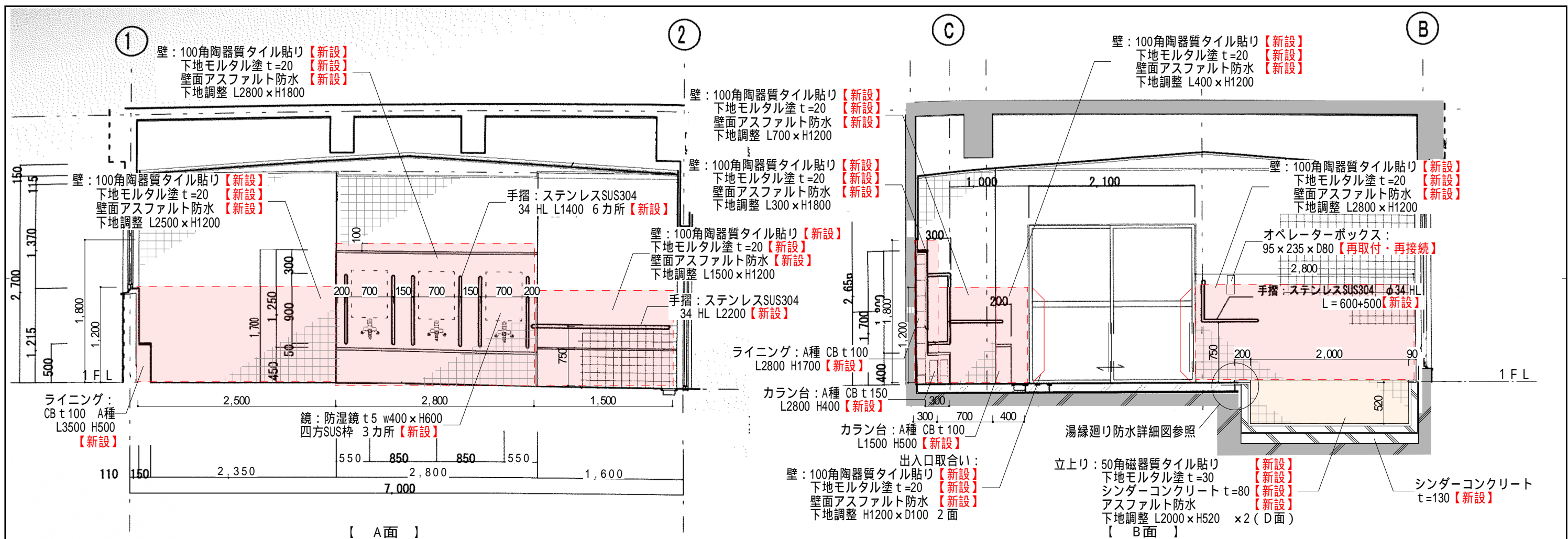
■ 本工事範囲

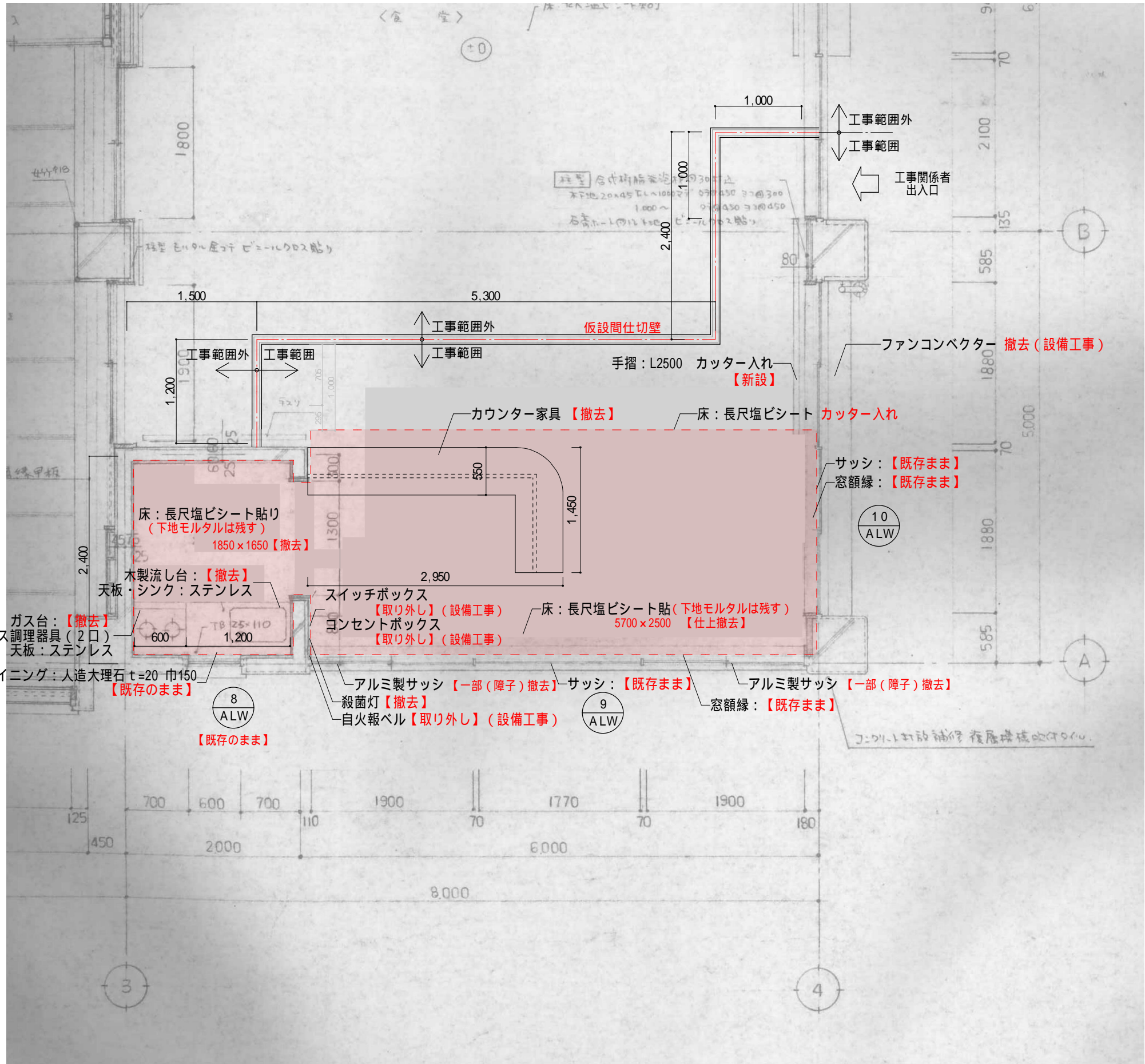




内部仕上表			改修後仕上に特記がないものは現状のままとする			天井			天井高			その他								
床			壁			天井			天井高			その他								
仕上			下地			仕上			下地			廻縁			天井高			その他		
既存	150角 磁器質タイル貼	【撤去】	モルタル下地 シンダーコンクリート アスファルト防水	【撤去】 【撤去】 【撤去】	100角陶器質 タイル貼り	一部 【撤去】	モルタル塗 アスファルト防水	一部【撤去】 一部【撤去】	バスリブ 働き巾200	ＬＧＳ 【既存のまま】	塩ビ 【既存のまま】	2700 ～ 2850	手摺：ステンレス製 34HL 鏡：防湿鏡 t 5 400×600 SUS四方枠							
改修	磁器質150角 タイル貼	【新設】	モルタル下地 シンダーコンクリート t 80 ワイヤーメッシュ 6 100×100 アスファルト防水(E-1)	【新設】 【新設】 【新設】 【新設】	陶器質100角 タイル貼	一部 【新設】	モルタル塗 アスファルト防水 (E-1)	一部【新設】 一部【新設】	バスリブ 働き巾200	【既存のまま】	【既存のまま】	【既存のまま】	2700 ～ 2850	オペレーターBOX 【取り外し/再取付】						

仕 上 特 記 事 項
<p>（床）１５０角磁器質タイル：ウェットエリア ハイドロテクト加工（名古屋モザイク） と同等品とする。</p> <p>（壁）１００角陶器質タイル：ミスティキラミック ブライト釉 と同等品とする。</p> <p>（浴槽）５０角磁器質タイル：プレイン５０（ＬＩＸＬＥ）と同等品とする。</p>





解体工事概要
部位: キッチン
規模: 20㎡

1. 内部解体

床 床仕上撤去とする。
壁 壁仕上撤去とする。
天井 一部天井下地・仕上撤去、一部天井仕上撤去とする。

床・壁 工事範囲内に取付く手摺などは全て撤去もしくは取外しとする。
カーテンボックス 一部カッター入れ撤去とする。

2. 家具 撤去

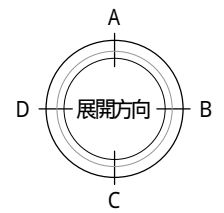
- a) カウンター 家具
木製 L2950 x W1450 x D550 x H750
b) 流し台 木製 ステンレスシンク L1200 x W550 x H950
ガス台 L600 x W550 x H950
吊戸棚 L600 x W400 x H510
レンジフード L600 x W600 x H600

3. サッシ撤去

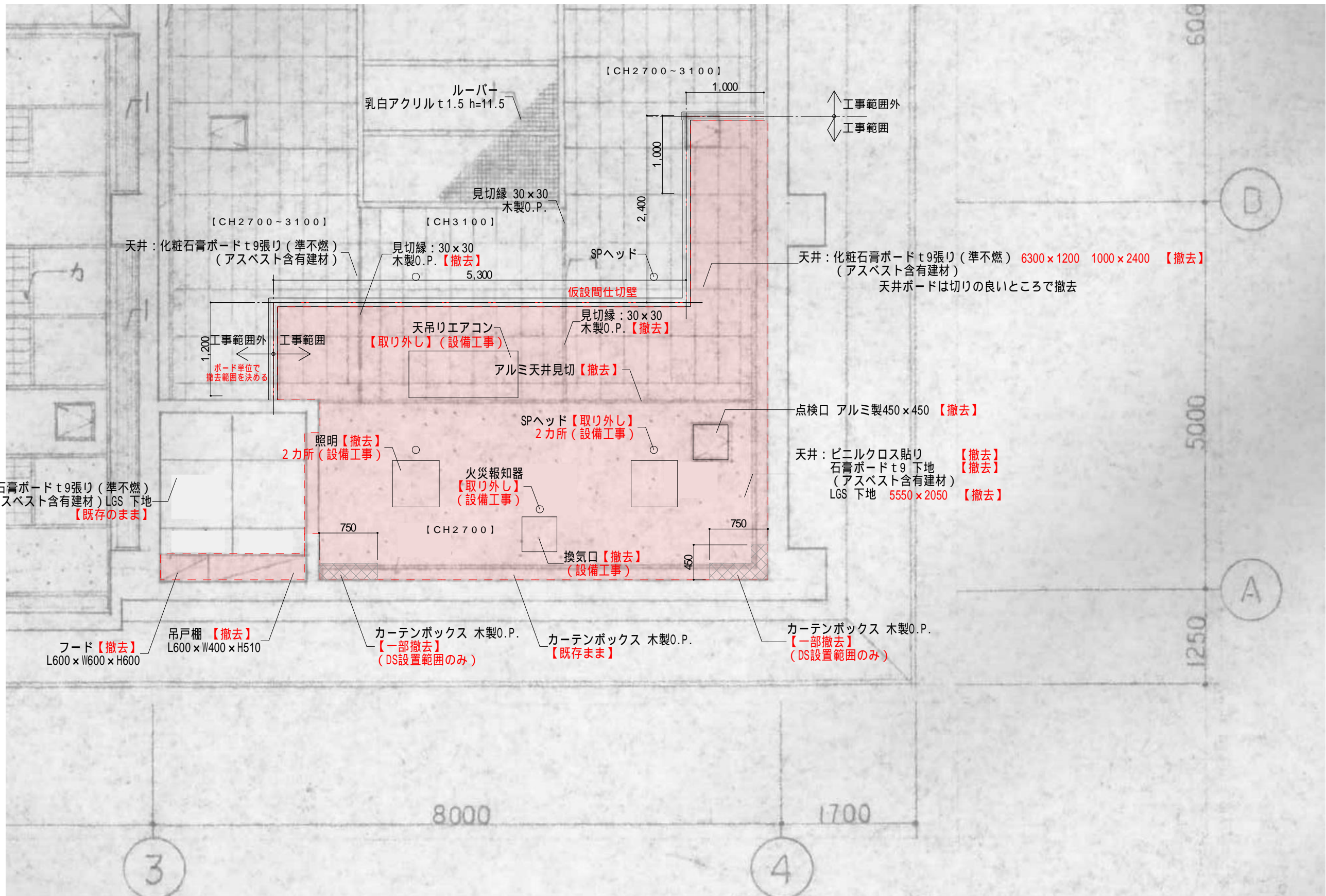
ALW-9 アルミ製 2 段障子 w950 x H1850 ガラスFL-5 共 4 枚撤去

4. 仮設間仕切壁

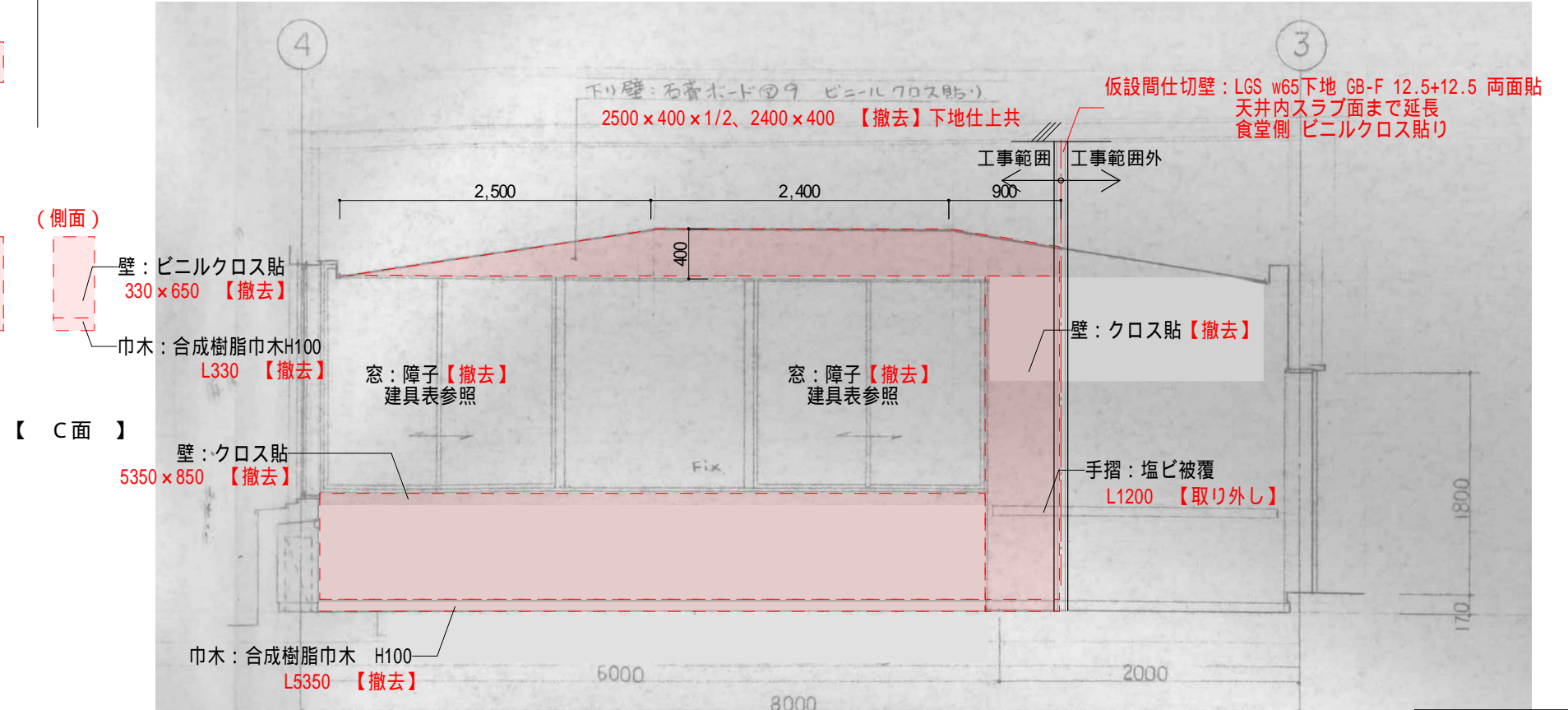
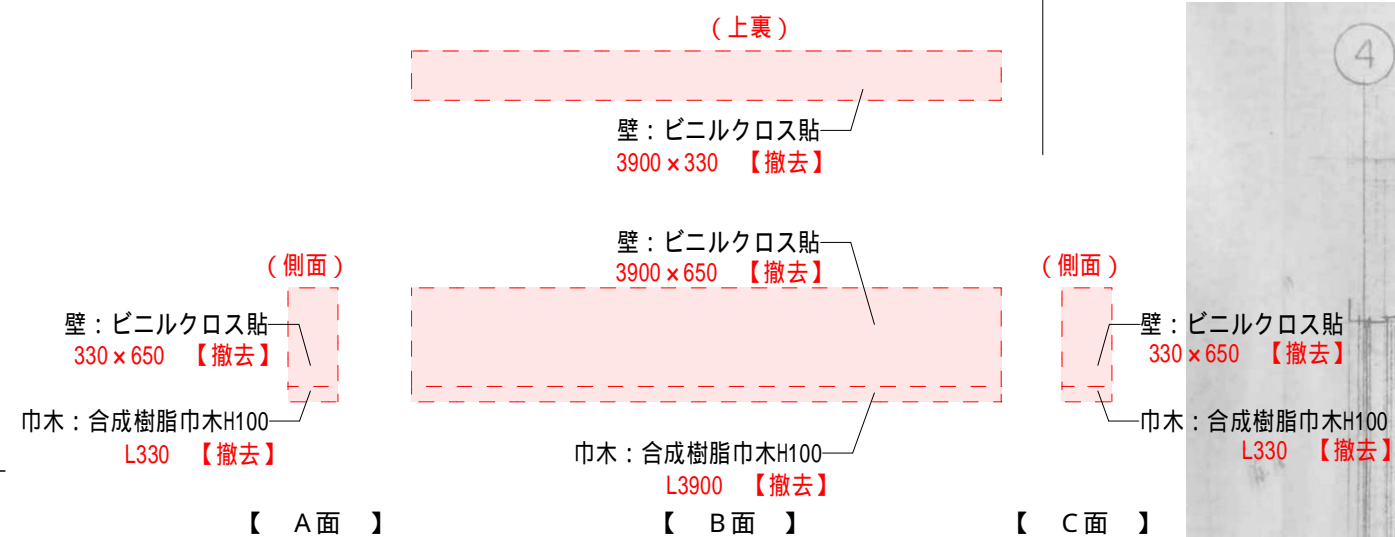
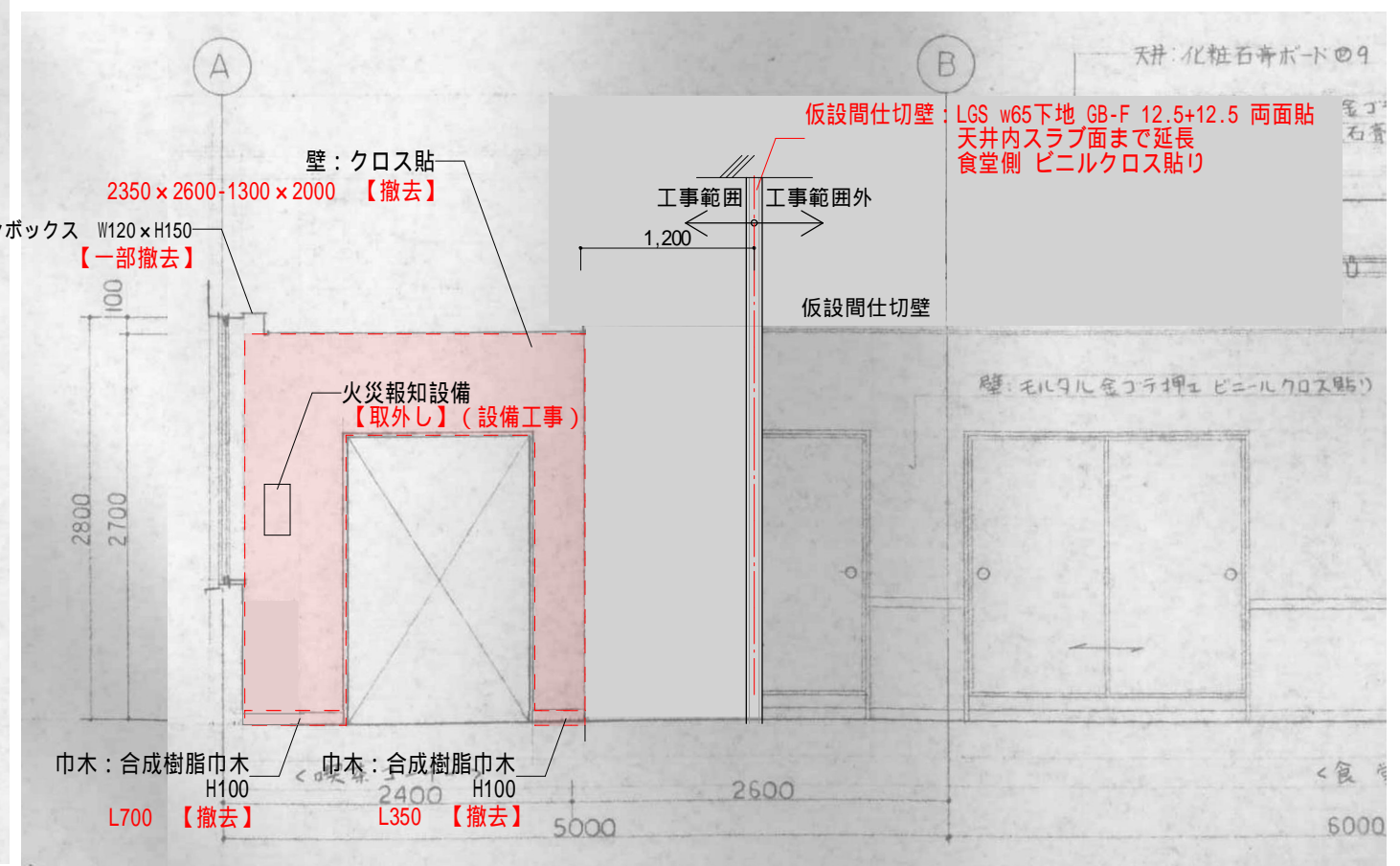
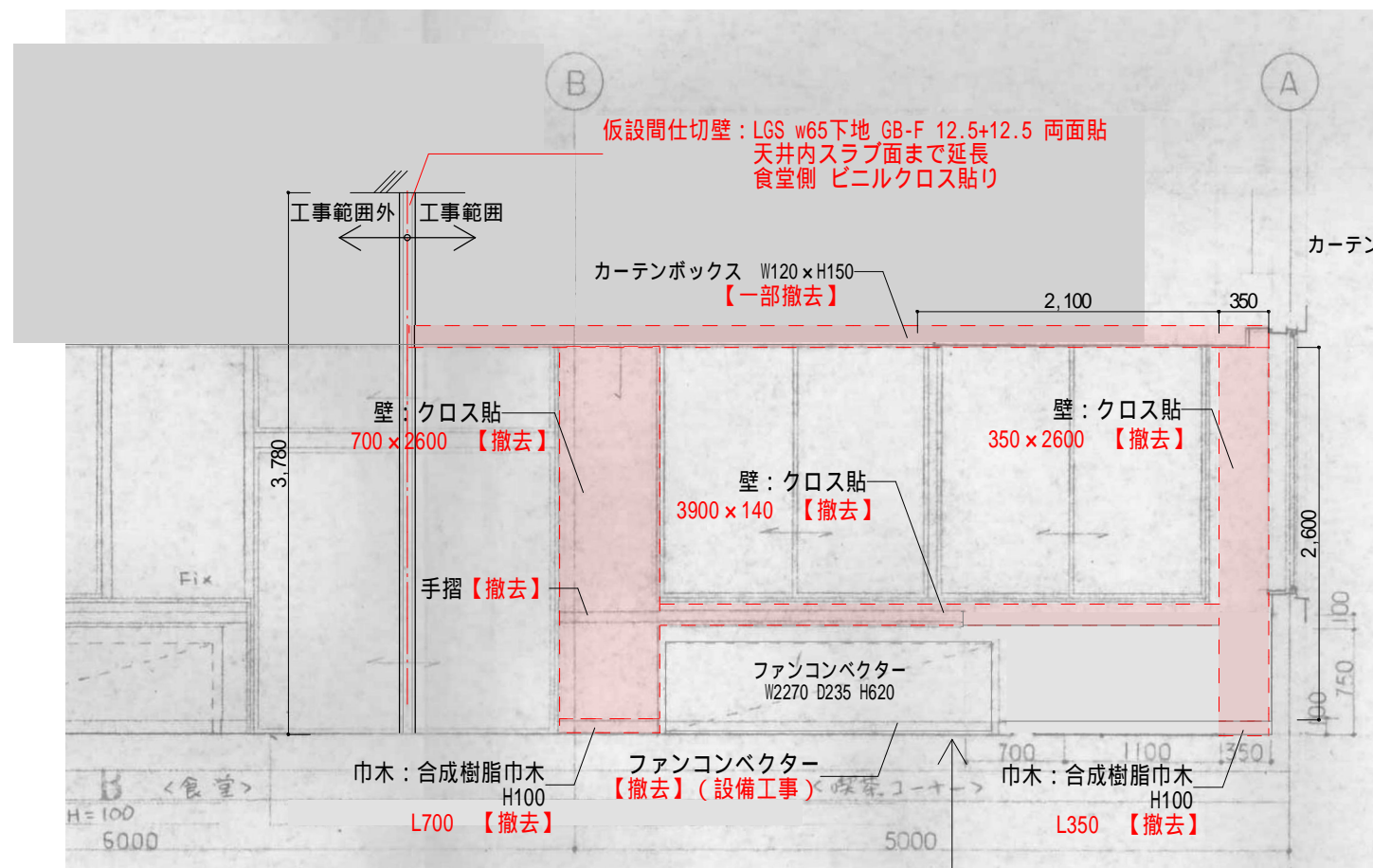
解体工事着手前に仮設間仕切を設置する。
仮設間仕切壁: LGS w65下地 GB-F 12.5+12.5 両面貼 天井内スラブ面まで延長
食堂側 ビニルクロス貼りとする。
原則、工事関係者の出入りはバルコニー側サッシからとする。



- 凡例 -
■ 本工事範囲

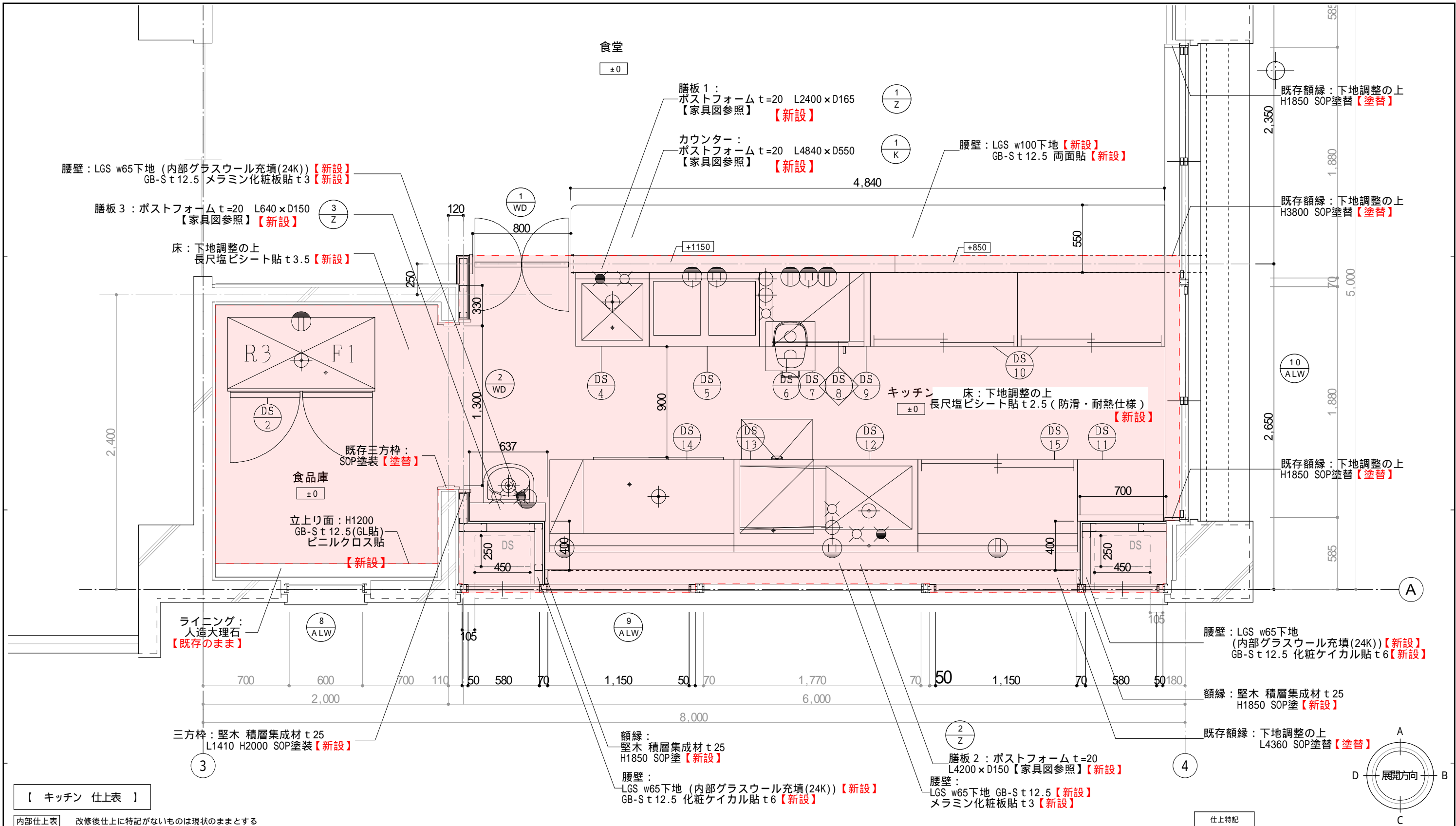


- 凡例 -
■ 本工事範囲



- 凡例 -

本工事範圍



【 キッチン 仕上表 】

内部仕上表 改修後仕上に特記がないものは現状のままでとする

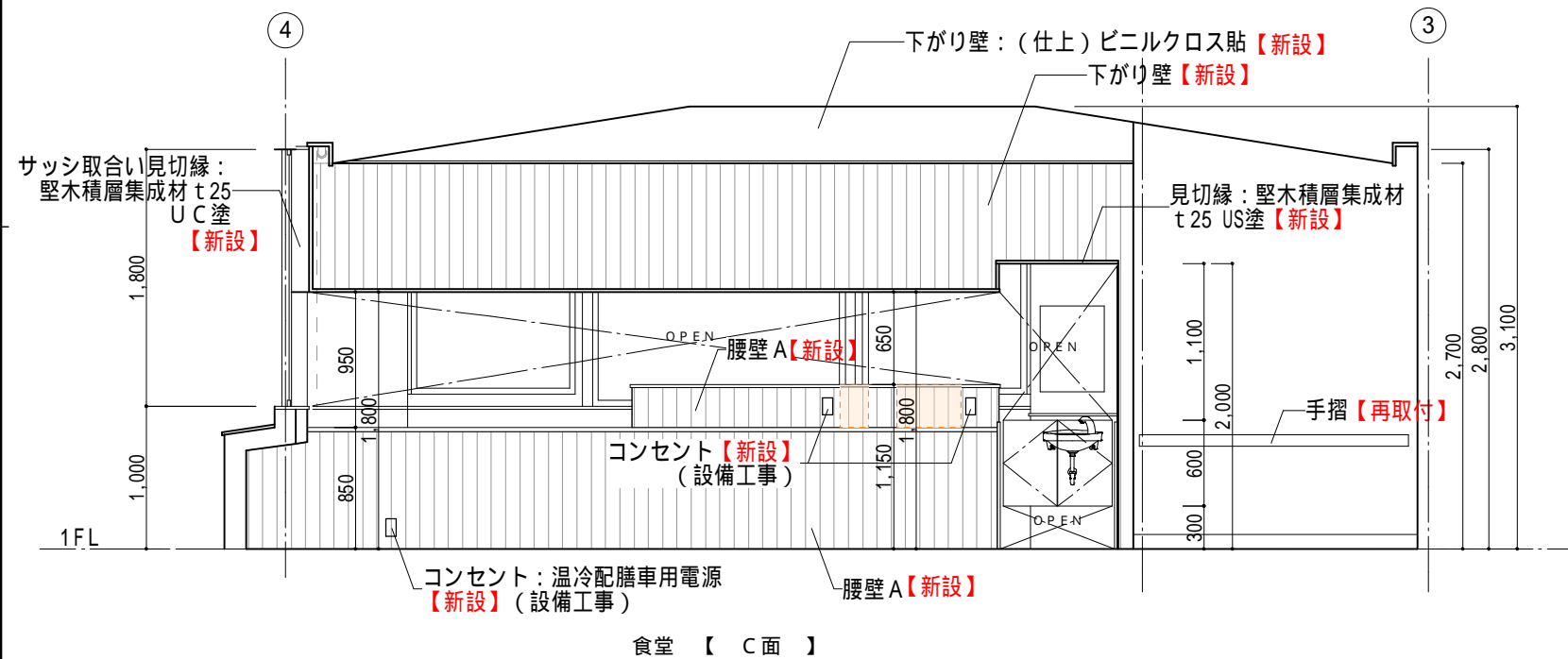
室名		床		巾木		壁		天井						天井高	
								仕上		下地		廻縁			
(食堂)	既存	長尺塩ビシート貼り (アスベスト含有建材)	【撤去】	合成樹脂巾木 H100	【撤去】	ビニルクロス貼	【撤去】	モルタル金ゴテ押え 石膏ボード t12 (アスベスト含有建材)	【既存のまま】 【既存のまま】	ビニルクロス貼 一部化粧石膏ボード t9 (アスベスト含有建材)	【撤去】	L G S 下地	塩ビ	【撤去】	2700 ~ 3100
キッチン	改修	長尺塩ビシート t2.5 (防滑・耐熱仕様) 下地調整共	【新設】	塩ビ製巾木 H100	【新設】	化粧ケイカル t6 メラミン化粧パネル t3	【新設】	LGS下地w65 GB-S t12.5貼 LGS下地w100 GB-S t12.5貼 鉄骨下地C-100 x50 x2.3@450 GB-S t12.5貼	【新設】	ケイカル板 t6 目地埋めパテ処理 E P - G 塗	【新設】	L G S 下地	アルミ	【新設】	2500, 2700 ~ 3100
(湯沸)	既存	長尺塩ビシート貼り (アスベスト含有建材)	【撤去】	合成樹脂巾木 H100	【既存のまま】	VP塗 一部100角半磁器質タイル貼	【既存のまま】	モルタル金ゴテ押え	【既存のまま】	化粧石膏ボード t9	【既存のまま】	L G S 下地	塩ビ	【撤去】	2400
食品庫	改修	長尺塩ビシート t2.5 (防滑・耐熱仕様) 下地調整共	【新設】	塩ビ巾木 H100	【一部新設】	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(食堂)	既存	長尺塩ビシート貼り (アスベスト含有建材)	【一部撤去】	合成樹脂巾木 H100	【一部撤去】	ビニルクロス貼	【一部撤去】	モルタル金ゴテ押え	【既存のまま】	化粧石膏ボード t9	【一部撤去】	L G S 下地	塩ビ	【一部撤去】	2700 ~ 3100
食堂	改修	長尺塩ビシート t2.5 (防滑・耐熱仕様) 下地調整共	【新設】	塩ビ巾木 H100	【新設】	ビニルクロス貼	【新設】	-	-	G B - D t9.5貼 (不燃)	【新設】	L G S 下地	木製	【新設】	-

仕上特記

仕上特記事項
(床) 長尺塩ビシート t2.5: 防滑・耐熱・抗菌・VOC対策 クリナ(タジマ)と同等品とする (壁) 化粧ケイカル t6: アスラックス200R(ニチアス)と同等品とする (壁) メラミン化粧板 t3: セラール(アイカ)と同等品とする (壁) メラミン曲面化粧板 t10.5: アイカール(アイカ)と同等品とする

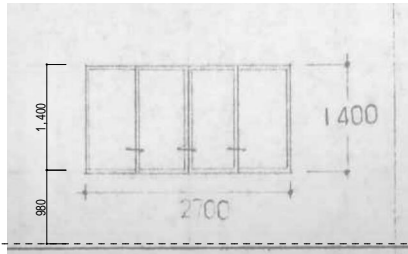
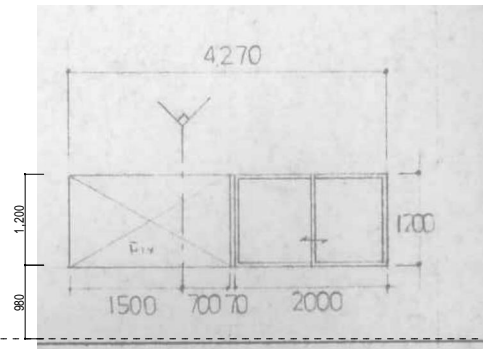
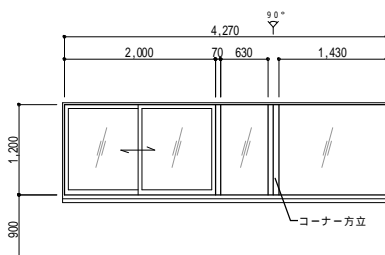
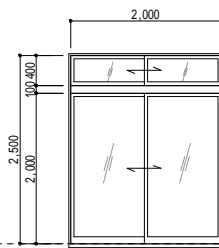
- 凡例 -
<div></div> 本工事範囲
±0 = 1FL





<div>特記事項</div> <div>1) 本工事に於いては、製作図作成の上、係員の承認を受けること。 又、係員が必要と認めるものについては、試作品を製作し検討すること。 2) 図中の寸法は概略寸法である為、上記について、係員の承認を受けること。 3) 製作にあたっては、請負者・専門業者連名の施工受渡書、性能書を提出し、係員の承認を付けること。 4) 建具金物は全て見本品を提出し、係員の承認を受ける事。 5) A T (防塵) ・仕替セミ A T 仕様の防音壁については、4 方枠にネオブレンゴム戸当りを施工し、フラッシュ内部には口ツクフル充填 (8 0 kg / m³) する事。 6) A T 仕様の防音壁は、3 点鎖りとする。又、建込み後の総合性能は、J I S の T - 2 等級とする。 所要透音性能が満足されず支障のある場合は、速やかに改修する事。 改修内容については、係員の承認を受ける事。 7) 錠のバックセットは原則として 6 4 mm 以上とする。 8) 外部ガラリ開口率は、特記のない限り 3 5 % とし、防虫網 (グラスロン、# 2 1 メッシュ) 付とする。 又、風圧などを考慮し、必要に応じて力骨等で補強のこと。 9) 内部ガラリの開口率は、特記のない限り 5 0 % とする。 1 0) ガラリにダクトが接続する場合は、ダクト接続フランジ付 (L - 3 0 x 3 0 x 5) とする。 1 1) オペレーターの操作 8 0 X は、特記のない限りワンタッチ式、増設型フラットタイプ (指定色供給仕上) とし、窓開閉の操作に支障のない数量を設置する事。 壁面の設置高さは床面から 8 0 0 ~ 1 5 0 0 以内とする。 1 2) ドアクローザーは全て部屋内付とする。</div>		1 3) オペレーターのワイヤー及び配線は隠蔽型とする。 1 4) 耐火区画廻りの扉枠内には、耐火材充填の事。 1 5) H D : ハンガード (半自動吊下式引戸) 自開装置 : 傾斜レール式、制動装置 : オイル式、特記なき限り全開停止機能付とする。 特記なき限り t 1 . 6 メラミン焼付塗装指づの防止ゴム付とする。 1 6) 自動ドアを表示するサインのデザインについては係員と打合せの上決定する。 1 7) 全てのシャッターには危害防止機構を装着すること。		材料 スチール 隔板は亜鉛メッキ鋼板を使用し、厚さは t 1 . 6、方立・無目・扉の骨組等は 2 . 3 mm、扉板厚は特記なき限り 1 . 6 mm とする。 防錆処理は水性錆止塗料 2 面塗とする。 アルミ J I S H 4 1 0 0 に規定する A 6 0 6 3 S - T 5 又は A 6 0 6 3 S S - T 5 とする。 (押出型材) J I S H 4 0 0 0 に規定する A 1 2 0 0 P、1 2 0 0 R とする。 とする。 (板材) J I S G 3 1 3 1 に規定する S P H C ・黒皮鋼板 (補助材) 合成ゴム (クロロプレン樹脂、B P T 発泡) (機密材) アルミサッシュ用金物で一般的に必要とされるものは特記がなくとも具備するものとする。 J I S 適合品 原則、強度 S - 4、気密 A - 3、水密 W - 4 ステンレス J I S A 4 7 0 2 に適合 # 7 0 0 以上とする。 (J I S G 4 3 0 5 に規定する S U S - 3 0 4) 木 木製建具に使用する合板は、耐水合板 (I Ⅲ) F 0 を使用する。		硝子 硝子押さえは特記なき限り全て弾性シーラント (シリコン) とする。末尾数字は硝子厚を示す。 P : 普通板硝子 (層板) F L : フロート板硝子 F : 型板硝子 S G : スリ硝子 P W : 網入 (線入) 層板硝子 F W : 網入 (線入) 型板硝子 H F L : 熱線吸収硝子 ブルー G F L : 熱線吸収硝子 グレー B F L : 熱線吸収硝子 ブロンス Low - E : 低放射ガラス (断熱) Slow - E : 高性能 Low - E ガラス (断熱) (A G C スーパークリアール程度) T : 強化硝子 T D : 強化硝子戸 F T : 型強化硝子 H H R : 熱線熱反射硝子 H R : 熱線反射硝子 H R W : 耐熱熱線反射強化硝子 A : 空気層 A r : アルゴンガス P C : 超耐熱強化ガラス G B : ガラスブロック (特定防火設備) H S : 特殊強化硝子 S G X : 【三層断熱材】中間層印刷フィルム樹脂 S T : スクールドレン硝子 (強化ガラス) シーリング アルミサッシュ廻りシーリングは、特記無き限り全てポリサルファイド系又は、変成シリコン系シーリングとする。 仕上 電解着色 : 電解 2 次着色 9 + 7 μ m 以上。 水切 外部アルミサッシュは全て扉部小口側を (立上りタイプ) とする。 外壁面よりの出寸法は 3 0 mm 以上とする。 排煙窓 排煙窓の開口角度は 6 0 ° 以上とする。 ○無敵防止フィルム 厚さ 1 0 0 μ m m 以下とする。		丁番 / ヒンジ H : ステンレス平キボ丁番 (3 点吊り) P H : ピボットヒンジ R H : ラバトリートヒンジ D H : ドアヒンジ F H : フロアヒンジ G H : グレベディーヒンジ A H : オートヒンジ E H : 通電丁番 S H : スライド丁番 S P H : 点検口用スプリングヒンジ L O H : ロングヒンジ 開閉装置 D C : ドアクローザー (ストップナシ) D C S : ドアクローザー (ストップ付) D C C : ドアクローザー (コンシールドタイプ) A S - 1 : アームストッパー A S - 2 : アームスティ 錠 / 取手 (N : 握り玉、L H : レバーハンドル、C H : ケースハンドル) 全てステンレス製とする。 L S - 1 : 空錠 L S - 2 : モノロック錠 L S - 3 : ケースロック L S - 4 : シリンダー本線錠 L S - 5 : シリンダー二線錠 L S - 6 : グレモンハンドル錠 L S - 7 : 表示錠 (スライドボルト式) L S - 8 : 分電錠錠 (鍵付) L S - 9 : 電気錠 (通電無錠・制御錠共)		操作金物 H P - 1 : 押棒 (木製 2 5 L 8 0 0) H P - 2 : 押棒 (ステンレス H L 仕上 2 7 L 6 0 0) H P - 3 : 押棒 (ステンレス H L 仕上 2 7 L 1 2 0 0) H P - 4 : ステンレスミラー (ユニオン F T 7 0 3 6 ログタイプ 程度) H P - 5 : 押棒 (ユニオン T 6 1 7 程度) H P - 6 : 押棒 (ユニオン T 2 0 3 3 程度) H D : 押板 D L : 引手 F O L : 引手 (兼用) S O L : 引手 (兼用) H N : 取手 / つまみ 固定金物 R C : ローラキャッチ M C : マグネットキャッチ T C : 三角錠まり A L H : レバーハンドル (窓廻り) C C : クレセント (サッシ H 1 8 0 0 未満の場合 L = 8 0) (サッシ H 1 8 0 0 以上の場合 L = 1 1 0) 引戸支持金物 R : 戸重 L : レール V : V 型レール U S L : U ステンレスレール t = 2 . 0 F L : フラッターレール (S U S) F L - 1 : フラッターレール (竹製) S : スチール H R : ハンガーレール (S U S) A S L : ステンレスレール G R : ガイドローラー 水切 / 窓隔 / 網線 W D A : アルミ水切 W D S : ステンレス水切 (下枠共) W D S T : 水切 (網線付) D S L : ドア錠 (ステンレス C - 4 0 x 2 0 x 2) D S M : ドア下見切 (ステンレス F B - 6 x 4 0) B D S L : ドア錠 (真鍮製 C - 4 0 x 2 0 x 2) W P L : 網線受 D S W : ステンレスドア下枠 t = 2 . 0 I A G : アルミ内部 4 方錠線 (サッシ同仕上) O A G : アルミ外部 3 方錠線 (サッシ同仕上) I S G : スチール内部 4 方錠線 (t 1 . 6 メラミン焼付仕上) O S G : スチール外部 4 方錠線 (t 1 . 6 メラミン焼付仕上) L G : 網線アングルピース 付属品 D S : 戸当たり F D : フランス落とし N D - 1 : アミ戸 (グラスファイバー製) 可動式 (外れ防止付き) N D - 2 : アミ戸 (グラスファイバー製) フリータイプ N D - 3 : アミ戸 (グラスファイバー製) 内部固定式 J C : 扉位置調整器 M G : 両向き吊りし合せ部ネオブレンゴム (スプリング調整金物付)		その他金物 B S L - 1 : 窓木 (網線付) アルミ C - 4 0 x 2 0 x 1 . 0 (裏付き) B S L - 2 : 窓木 (網線付) ステンレス F B - 4 0 x 6 S G L - 1 : シャッターガイドレール ステンレス H L t 2 . 0 S G L - 2 : シャッターガイドレール ステンレス H L F B - 6 x 8 0 S L L : シャッターマグサ t = 2 . 0 ステンレス H L S B P L - 1 : シャッター層板 L : 4 0 x 4 0 x 5 ダブル程度 ステンレス H L (障害物感知センサー付) S B P L - 2 : シャッター層板 ステンレス t 2 . 0 H L (障害物感知センサー付) S B : シャッターボックス その他機構 S L M : 煙感知器連動装置一式 H L M : 手動排煙装置一式 O P R : オペレーター (埋込ボックス付) O D M : 自動錠装置一式 S O D M : 半自動錠装置一式 E O S : 電動巻上装置一式及び手動ハンドル付 (操作パネルは全てステンレス H L 錠付) H O S : 手動巻上装置一式 M : メーカー付属金物一式	
---	--	---	--	--	--	---	--	---	--	---	--	--	--

記号・数量	A L W - 4	1	A L W - 5	1	A L W - 8	1	A L W - 1 0	1
姿図								
型式・位置	2 連引違い窓	1 階 / 浴室	3 連横間 F I X 2 枚引違い窓	1 階 / 浴室	ジャロジー窓	1 階 / 湯沸室	2 連引違い窓	1 階 / キッチン
見込	7 0		7 0		7 0		7 0	
材料	建具・枠 : アルミ		建具・枠 : アルミ		建具・枠 : アルミ		建具・枠 : アルミ	
仕上	建具・枠 : シルバー		建具・枠 : シルバー		建具・枠 : シルバー		建具・枠 : シルバー	
硝子	F L t 5		F L t 5		F L t 6		F L t 5	
金物	クレセント		クレセント				クレセント	
備考	網戸、水切 (シルバー)		網戸、水切 (シルバー)、オペレーターワイヤー一式		水切 (シルバー)		水切 (シルバー)	
記号・数量	A L W - 9	1		1	W D - 1	1	W D - 1	1
姿図								
型式・位置	袖 2 枚引違い F I X 窓	1 階 / キッチン	F I X 窓 + ガラリ	1 階 / キッチン	スイングドア	1 階 / キッチン	三方枠	1 階 / キッチン
見込	7 0		7 0		4 0		2 5	
材料	建具・枠 : アルミ		建具・枠 : アルミ		建具・枠 : 木製		建具・枠 : 木製	
仕上	建具・枠 : シルバー		建具・枠 : シルバー		建具・枠 : メラミン化粧版		建具・枠 : S O P 塗装	
硝子	F L t 5							
金物	クレセント		Low - E t 3 + A 1 2 + F L - 3		自由丁番			
備考	水切 (シルバー)、結露受		ダクト接続用アングル カバー工法					

記号・数量		A L W - 1		1		A L W - 2		1		A D - 0 0 1		1	
姿図		工事内容：既存まま				<div>撤去図</div> 		<div>改修図</div> 		<div>新設</div> 			
型式・位置		2 連引違い窓		1 階 / 渡り廊下		袖 F I X 窓 + 引違い窓		1 階 / 事務室		袖 F I X 窓 + 引違い窓		引違い窓 + ランマ引違い窓	
見込		7 0				7 0				7 0		7 0	
材料		建具・枠：アルミ				建具・枠：アルミ				建具・枠：アルミ		建具・枠：アルミ	
仕上		建具・枠：シルバー				建具・枠：シルバー				建具・枠：シルバー		建具・枠：シルバー	
硝子		P W t 6 . 8				F L t 5				L o w - E t 3 + A 1 2 + P W t 6 . 8		L o w - E t 3 + A 1 2 + P W t 6 . 8	
金物		クレセント				クレセント				クレセント		クレセント	
備考		網戸、水切（シルバー）		【防火設備】		網戸、水切（シルバー）、結露受				網戸、水切（シルバー）、結露受、【防火設備】		網戸、水切（シルバー）、結露受、【防火設備】	
記号・数量													
姿図													
型式・位置													
見込													
材料													
仕上													
硝子													
金物													
備考													
記号・数量													
姿図													
型式・位置													
見込		7 0											
材料													
仕上													
硝子													
金物													
備考													

株式会社 五井建築研究所

Creation & Technology

一級建築士事務所石川興知事登録 1 0 2 6 号

一級建築士 第 2 6 9 9 2 3 号

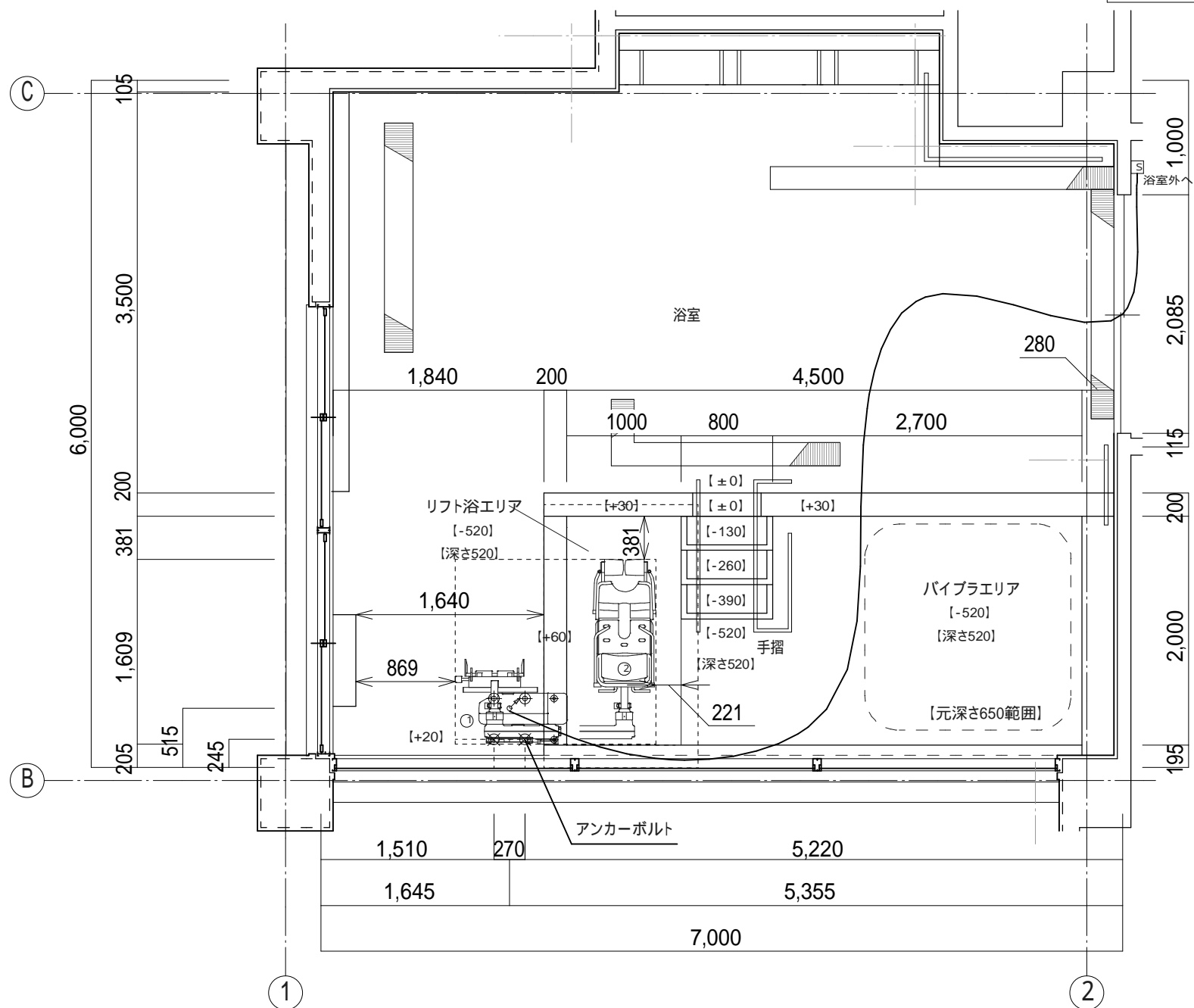
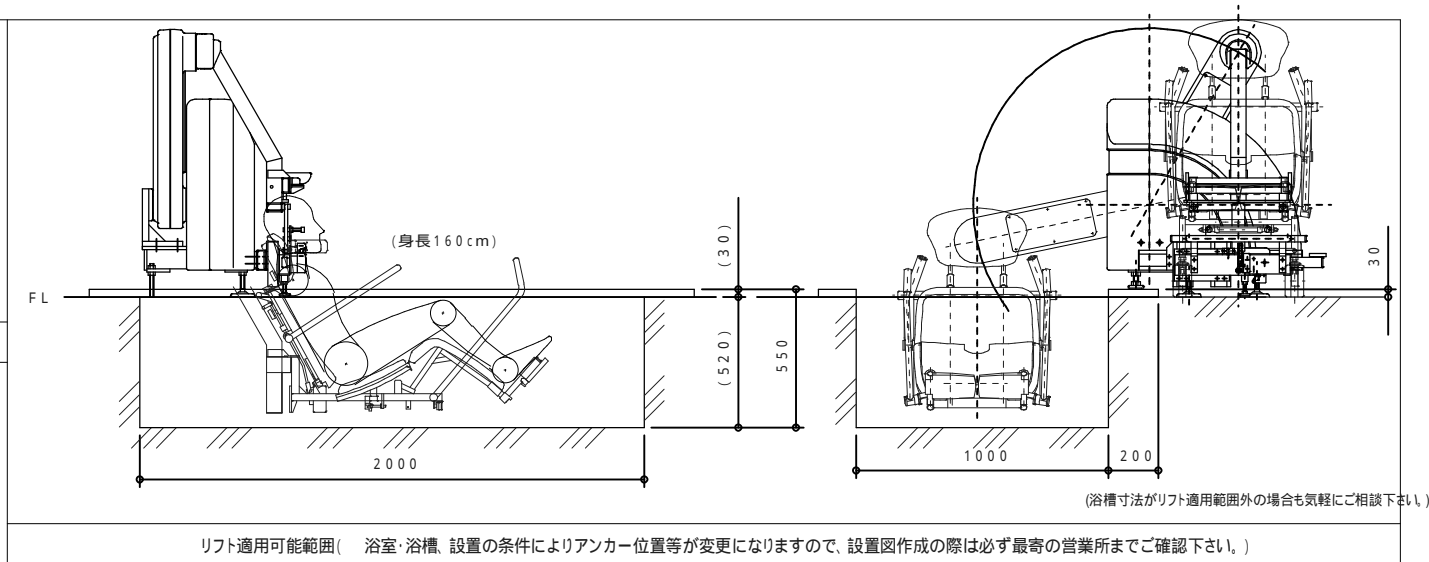
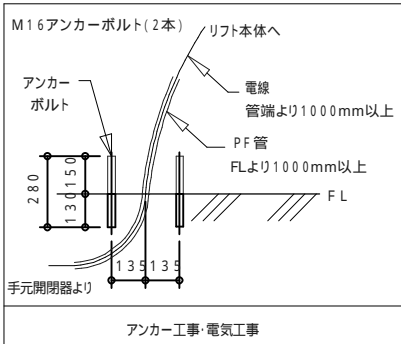
設備設計一級建築士第 2 3 2 6 号 喜多孝之

担当	年月日	訂正	記事
A.No.0	2026.4		

工事番号	工事名
2 4 - 2 3 F	長寿園デイサービスセンター改修工事

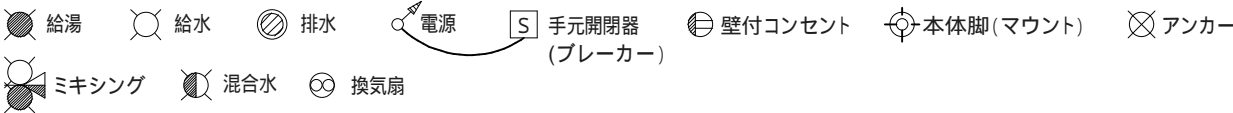
図面名	縮尺	A021
建具表（2）【撤去・改修図】	A 3 = 1 / 5 0 , 1 0 0	

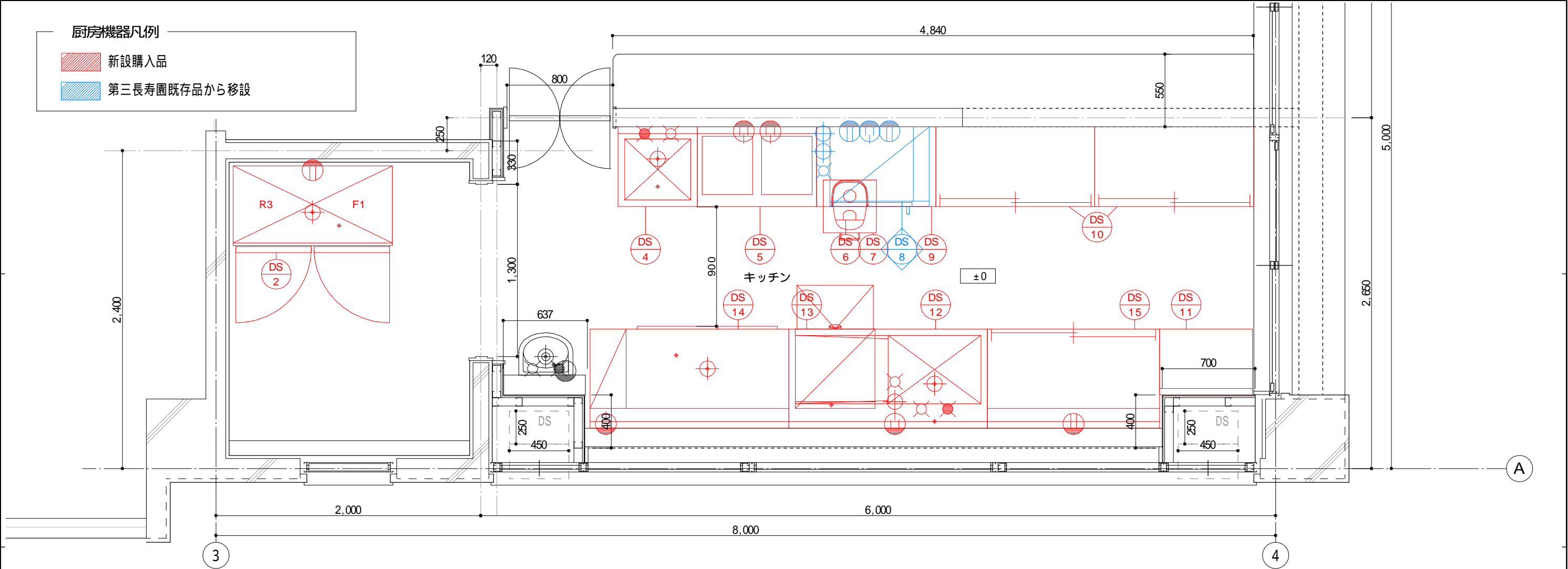
符 号	数 量	K - 1 / カウンター	1	Z - 1 / 膳板 1	1	Z - 2 / 膳板 2	1
姿 図							
位 置		キッチン		キッチン		キッチン	
材料・仕上		天板：ポストフォーム		天板：ポストフォーム		天板：ポストフォーム	
金物		片持ちブラケット下地（壁内隠蔽）		-			
備考		-		両面小口、両端小口同材貼		片面小口貼、額縁取り合い	
符 号	数 量	Z - 3 / 膳板 3	1				
姿 図							
位 置		キッチン					
材料・仕上		天板：ポストフォーム					
金物							
備考							



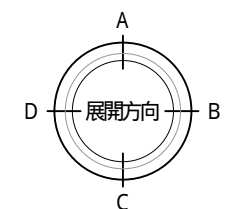
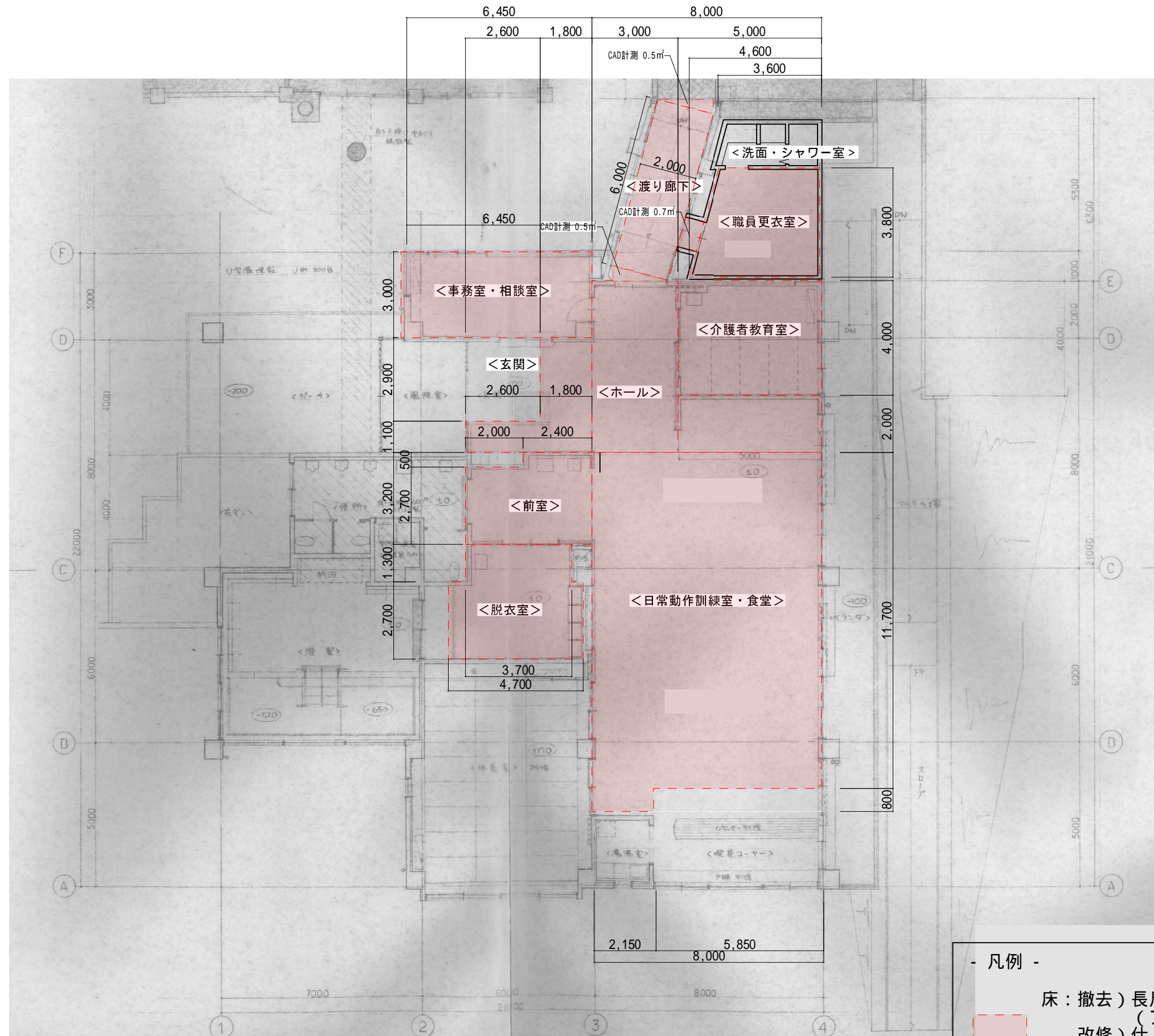
- ① ABL-1700(L) ア - ムストロング ウインドミル (質量 約 145kg)
リフト脚(マウント)4箇所
② ABL-1700SC シャワーチェア (質量 約 37kg)
キャスター 4輪
リフト装置の想定最大質量は、約282kgです。

工事区分	設備工事内容・注意事項
設備工事	浴槽に関わる給湯給水、排水設備は別途打ち合わせの上、用意して下さい。 (1)水道法の水質基準に適合する水質であること。
電気工事	電源 単相100V 50/60Hz 15A(アース付) 分電盤から本機への配線は単独として下さい。 電源入力:0.53kVA(50/60Hz) 電線:単線1.6mm又はより線2.0mm ² ×3芯(参考値) 内線規定、及び、敷設状況により適切に選定して下さい。 電線管:PF管呼び16 床面立上げ高さ1000mm以上とし、 電線は管端より1000mm出して下さい。 分電盤:漏電遮断器(定格電流15A、感度電流30mA)を設けること。 アース:D種接地工事 手元開閉器(ブレーカー):単相100V 15A(浴室外に設置して下さい。) 製品に異常があった際、すぐに電源を開放できる位置に手元開閉器(ブレーカー)を設置して下さい。
アンカー工事 (後打ち)	アンカーボルト 2-M16 アンカーボルト ケミカルアンカー:130mm打ち込み 防水層・床暖層等に支障がない様にして下さい。 アンカー部のコンクリート強度:15N/mm ² (150kgf/cm ²)以上のこと。
その他 注意事項	(1)浴室内の換気には十分注意して下さい。 換気が不十分の場合は、製品内部に結露が発生し、故障につながる恐れがあります。 (2)本機周辺の水勾配は、1/150程度のゆるやかなものとして下さい。 (3)浴室までの搬入経路は、有効開口寸法1200mm以上、通路側有効1800mm以上となるようにして下さい。



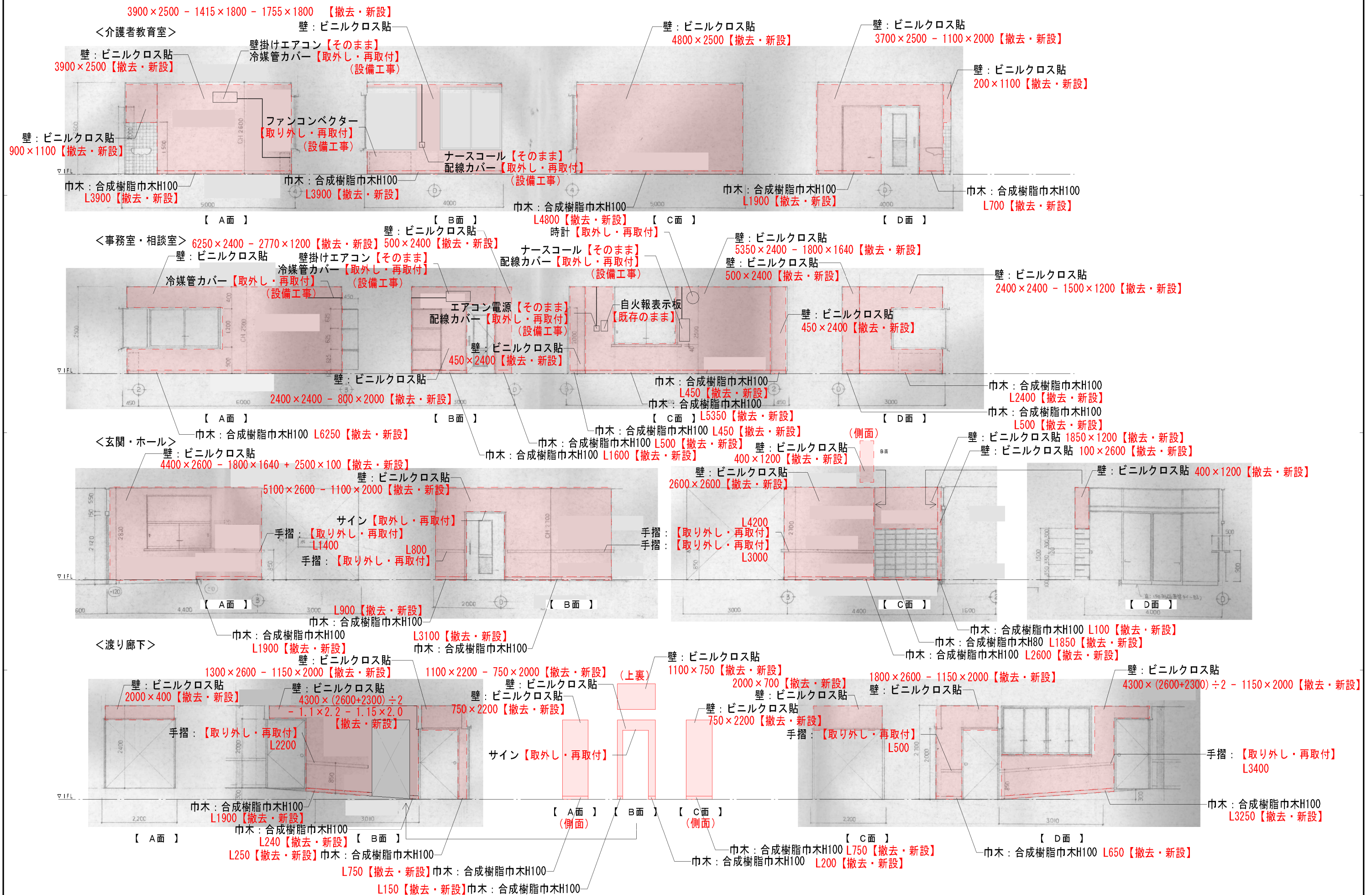


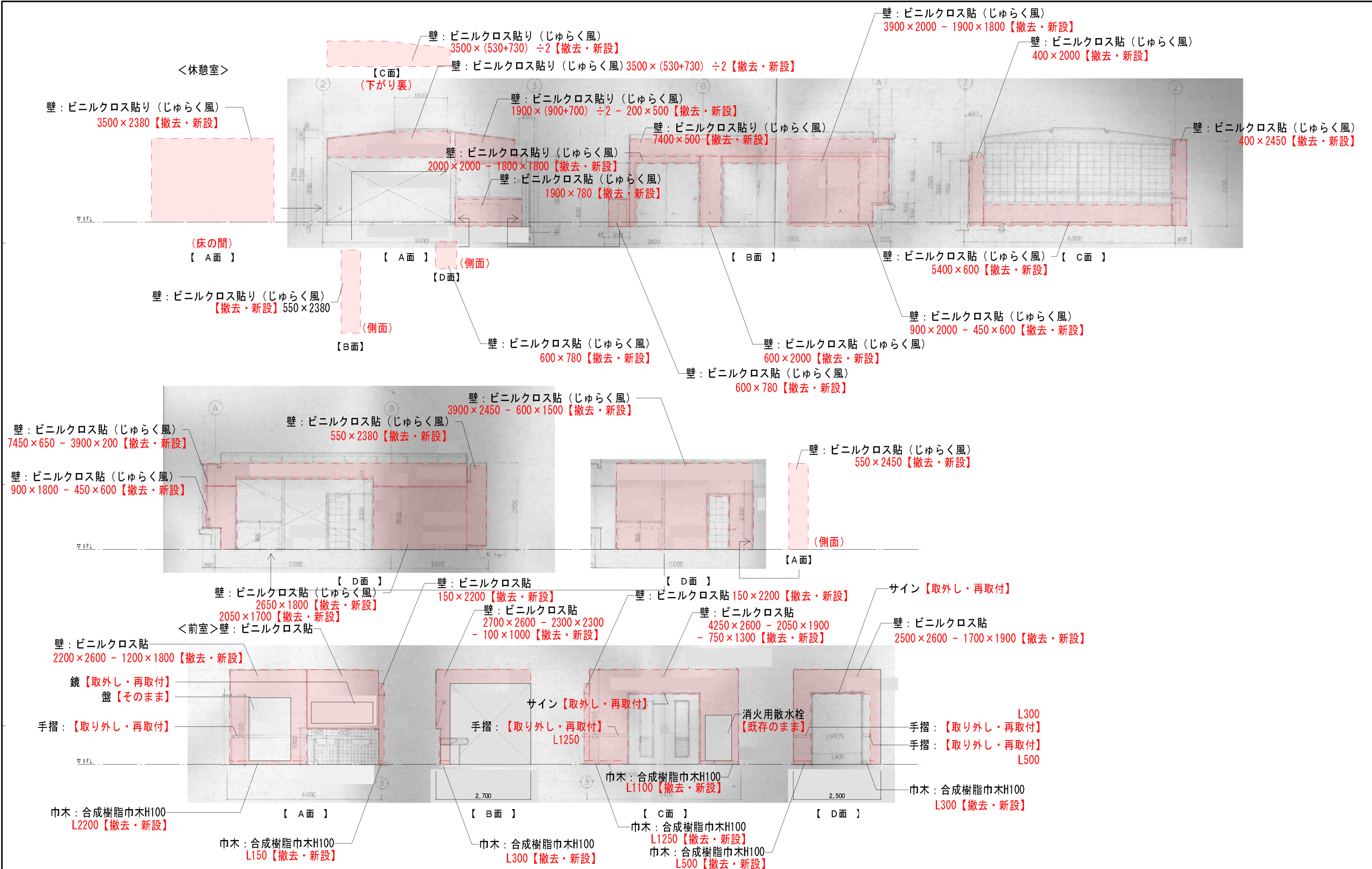
No.	品名	MODEL	寸法(mm)			台数	配管口径(A)			電 気			フッド	備 考 3974-0195
			間口	奥行	高さ		給水(A)	給湯(A)	排水(A)	1 100V(kW)	1 200V(kW)	3 200V(kW)		
1	欠 番													
2	冷凍冷蔵庫	FR1265FKCi	1200	655	1950	1			50	0.464				冷蔵590L 冷凍175L、インバータ、ライン取手
3	欠 番													
4	一槽シンク	FS0660	600	600	850	1	15	15	50					
5	I Hテーブル	FICT90610FH	900	600	850	1						5.0×2	G	
6	I Hジャー炊飯器	NH-YG18	275	375	247	1				1.29				1.8リットル(1升)炊き
7	炊飯カート		400	400	90	1								
8	卓上型スチームコンベクションオープン	TSC0-4EBN2	750	600	540	1	15×2		40高温			4.7	G	第三長寿園既存No.BB-22 軟水器付2/3ホテルパン4段
9	台		900	600	850	1								
10	台下戸棚		1200	600	850	2								
11	台		700	500	850	1								後脚150mm逃げ
12	水切付一槽シンク		1500	750	850	1	15	15	50					
13	アンダーカウンター洗浄機	M-iClean UM	600	600	710	1	20		高温40			6.7	ガラリ	接続温度10～50
14	電気消毒保管庫	(FEDB1560)	1500	750 (600)	850	1			25			2.60		3P200V仕様 4カゴ収納
15	台下戸棚		1300	750	850	1								
	温冷配膳車(別途)													

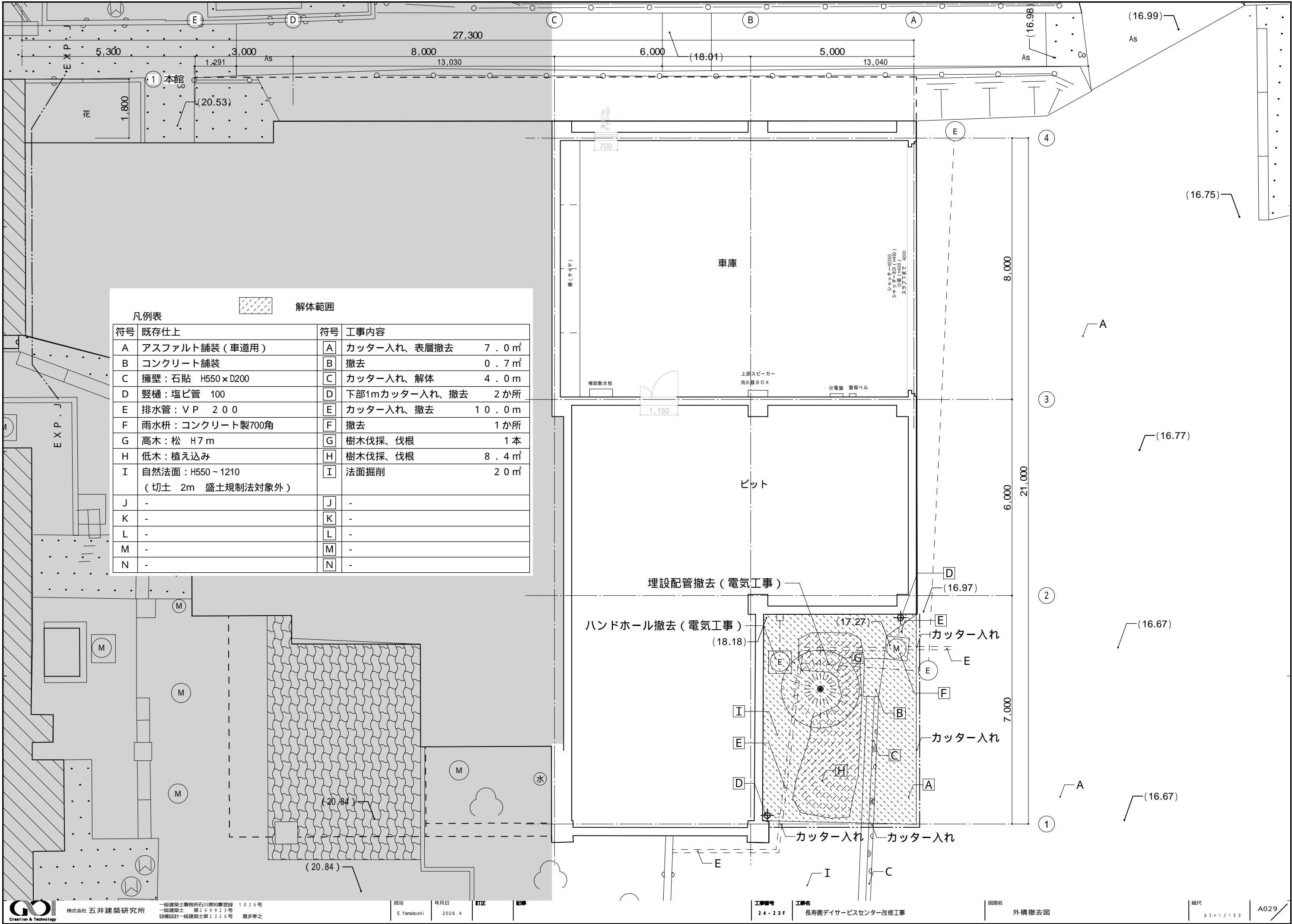


- 凡例 -

- 床：撤去) 長尺塩ビシート
(アスベスト含有建材) 【仕上撤去】
改修) 仕上調整の上、
長尺塩ビシート貼 t 3.5 【新設】







凡例表		解体範囲	
符号	既存仕上	符号	工事内容
A	アスファルト舗装（車道用）	A	カッター入れ、表層撤去 7.0㎡
B	コンクリート舗装	B	撤去 0.7㎡
C	擁壁：石貼 H550×D200	C	カッター入れ、解体 4.0㎡
D	縦樋：塩ビ管 100	D	下部1mカッター入れ、撤去 2か所
E	排水管：VP 200	E	カッター入れ、撤去 10.0㎡
F	雨水枡：コンクリート製700角	F	撤去 1か所
G	高木：松 H7m	G	樹木伐採、伐根 1本
H	低木：植え込み	H	樹木伐採、伐根 8.4㎡
I	自然法面：H550～1210 （切土 2m 盛土規制法対象外）	I	法面掘削 20㎡
J	-	J	-
K	-	K	-
L	-	L	-
M	-	M	-
N	-	N	-

